

お お た 区 議 会
年 報

—平成21年版—

2009

大田区議会

目 次

1 議 会 構 成

(1) 議 員	
① 議 員 数	1
② 会派別議員数	1
③ 議 員 名 簿	1
(2) 会 議	
① 本 会 議	3
② 常任委員会	3
③ 議会運営委員会	4
④ 特別委員会	4
⑤ 委員会別所属議員名簿	5

2 議 会 活 動

(1) 本会議	
① 定 例 会	19
② 臨 時 会	19
(2) 常任委員会・特別委員会開催回数	19
(3) その他の会議開催回数	19
(4) 種類別議決件数	19
(5) 議決事項一覧表	
① 区長提出議案	21
② 議員提出議案	29
③ 委員会提出議案	29
④ 議員提出事件	30
⑤ 選 挙	31
⑥ 同 意	31
⑦ 答 申	31
⑧ 報 告	31
(6) 定例会の質問事項(通告)	34
(7) 予算・決算特別委員会の質疑事項(総括質疑 通告)	40
(8) 委員会別請願・陳情審査件数と処理内訳	43
(9) 委員会別請願・陳情	
① 総務財政委員会	44
② 地域・産業委員会	45
③ 保健福祉委員会	46
④ 都市・環境委員会	48
⑤ こども文教委員会	50
⑥ 議会運営委員会	53
⑦ 開発・観光対策特別員会	53
⑧ 交通問題調査特別委員会	54
⑨ 羽田空港対策特別委員会	54

(10) 決議・意見書	
・新型インフルエンザ対策に関する意見書	55
・北朝鮮の核実験に厳重に抗議する決議	56
・地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書	57
・食品表示に関する制度の改正を求める意見書	58
(11) 国内視察	
① 常任委員会行政視察	59
② 特別委員会行政視察	60
(12) 海外視察	61
① 大田区議会セーラム市親善訪問団報告	62
② 大田区議会北京市朝陽区親善訪問団報告	75
3 歴代議長・副議長・議員選出監査委員	
(1) 歴代議長	93
(2) 歴代副議長	95
(3) 歴代議員選出監査委員	97
4 予算等	
(1) 議会費（当初予算）	99
(2) 議員報酬	99
(3) 議会刊行物	100
5 事務局（組織図）	100

1 議会構成（平成21年12月28日現在）

(1) 議員 平成19年5月1日就任（平成19年4月22日選挙）

①議員数 法定上限数56人 条例定数50人（条例改正 平成9年10月）

②会派別議員数 平成21年12月28日現在

会派名	略称	構成人員（人）			ダイヤルイン	内線
		総数	男性	女性		
大田区議会公明党	公明	12	8	4	5744 - 1488	4051～4057
自由民主党政友会	政友会	10	10	0	5744 - 1480	4041～4045
日本共産党大田区議団	共産	7	3	4	5744 - 1477	4061～4066
大田区議会自民党	大田自民	7	7	0	5744 - 1469	4046～4050
大田区議会民主党	民主	6	4	2	5744 - 1475	4081～4085
大田区議会緑の党	緑	1	0	1	5744 - 1479	4074
区議会大田区民の会	区民の会	1	1	0	5744 - 1476	4073
自由民主党大田区議会	自民大田	1	1	0	5744 - 1617	4075
無所属の会	無所属	1	1	0	5744 - 1478	4071
改革110番	改革	1	1	0	5744 - 1672	4072
大田生活者ネットワーク	ネット	1	0	1	5744 - 1673	4076
合計		48	36	12		

③議員名簿

議長 永井 敬臣（政友会）

副議長 古山 昌子（公明）

平成21年12月28日現在

会派略称	議席番号	氏名	郵便番号	住所	電話番号
政友会	1	永井 敬臣	144-0044	大田区本羽田一丁目20番3号	3744-8683
政友会	2	田中 一吉	144-0051	大田区西蒲田六丁目10番3号	3735-1650
政友会	3	水井 達興	144-0052	大田区蒲田一丁目8番14号	3733-2369
政友会	4	高瀬 三徳	143-0026	大田区西馬込二丁目31番3号	3777-1941
政友会	5	安藤 充	144-0043	大田区羽田三丁目1番2号	3744-7038
政友会	6	伊藤 和弘	143-0016	大田区大森北一丁目14番4号	3768-7068
政友会	7	塩野目正樹	143-0012	大田区大森東五丁目31番6号	3766-5639
政友会	8	湯本良太郎	143-0011	大田区大森本町二丁目31番10号	3765-1464
政友会	9	鈴木 康文	146-0093	大田区矢口一丁目5番15-101号	3750-8951
政友会	10	鈴木 隆之	146-0085	大田区久が原五丁目17番27号	5700-5765
大田自民	11	河津 章夫	145-0074	大田区東嶺町29番4号	3755-8386
大田自民	12	海老澤信吉	145-0064	大田区上池台五丁目21番18号	3728-2563
大田自民	13	松原 秀典	146-0082	大田区池上七丁目19番22号	3753-1465
大田自民	14	岸田 哲治	145-0062	大田区北千束一丁目13番3号	3718-0987
大田自民	15	大森 昭彦	144-0031	大田区東蒲田一丁目12番16号	3738-4991

会派 略称	議 席 番 号	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
大田自民	16	松原茂登樹	144-0034	大田区西糀谷二丁目30番17号	3741-6683
大田自民	17	押見 隆太	146-0084	大田区南久が原二丁目5番19-201号	3753-1122
自民大田	18	近藤 忠夫	145-0065	大田区東雪谷二丁目7番2号	3727-0912
公 明	19	溝口 誠	145-0062	大田区北千束二丁目15番20号	3729-4141
公 明	20	荒川 善夫	144-0045	大田区南六郷一丁目19番1-502号	3737-0619
公 明	21	高橋 博	144-0032	大田区北糀谷二丁目10番8号	3741-0460
公 明	22	飯田 茂	145-0066	大田区南雪谷二丁目9番15号	3720-5389
公 明	23	富田 俊一	144-0033	大田区東糀谷一丁目12番20号	3742-3190
公 明	24	清波 貞子	144-0051	大田区西蒲田三丁目21番3号	3753-3945
公 明	25	古山 昌子	146-0093	大田区矢口三丁目2番16-105号	3758-8178
公 明	26	渡部登志雄	143-0016	大田区大森北三丁目24番16号	3761-2076
公 明	27	松本 洋之	144-0051	大田区西蒲田七丁目48番1-702号	3730-5390
公 明	28	丸山 かよ	143-0015	大田区大森西七丁目2番3号	3761-1424
公 明	29	岡元 由美	143-0023	大田区山王一丁目5番21-201号	6909-9486
公 明	30	勝亦 聡	144-0052	大田区蒲田二丁目9番14号	3737-2763
民 主	31	山崎 勝広	144-0046	大田区東六郷三丁目14番12-207号	3735-2585
民 主	32	岸田 正	143-0015	大田区大森西五丁目19番13号	5482-2121
民 主	33	都野 圭子	145-0072	大田区田園調布本町41番12号	3722-7442
民 主	34	木村 勝	143-0014	大田区大森中二丁目5番16-208号	6228-0858
	35	欠 番			
民 主	36	黒川 仁	146-0082	大田区池上六丁目2番2-1003号	6712-0775
民 主	37	森 愛	144-0052	大田区蒲田五丁目26番8-307号	5935-7753
無 所 属	38	荒木 秀樹	143-0023	大田区山王三丁目1番13号	3771-4719
改 革	39	犬伏 秀一	144-0045	大田区南六郷三丁目1番1-407号	3744-0111
ネ ッ ト	40	奈須 利江	145-0062	大田区北千束一丁目11番8号	3724-3285
緑	41	野呂 恵子	146-0093	大田区矢口一丁目25番5号-D	3758-2758
区民の会	42	西村健志郎	145-0061	大田区石川町二丁目3番16-414号	5499-2680
共 産	43	佐藤 伸	143-0016	大田区大森北五丁目15番22-201号	3298-6362
共 産	44	清水 菊美	144-0033	大田区東糀谷一丁目13番2-501号	3745-6371
共 産	45	菅谷 郁恵	143-0012	大田区大森東三丁目9番21号	3767-8581
	46	欠 番			
共 産	47	金子 悦子	144-0056	大田区西六郷二丁目2番1号	5711-0350
共 産	48	和田 正子	146-0095	大田区多摩川二丁目24番62-2-209号	3759-6579
共 産	49	藤原 幸雄	144-0034	大田区西糀谷四丁目21番18号	3742-2936
共 産	50	大竹 辰治	146-0094	大田区東矢口三丁目11番19号	3736-4202

(2) 会議

①本会議

定例会の回数は、条例で年4回と定められており、2月、6月、9月、11月に招集される。その他、必要に応じて臨時会が開かれる。

②常任委員会

委員会の名称、定数及び所管は表のとおりである。委員の任期は1年である。

平成21年3月31日まで

名 称	委員定数	所 管
総務財政	10人	経営管理部、会計管理室、選挙管理委員会及び監査委員に関する事並びに他の常任委員会に属しないこと
生活産業	10人	区民生活部、産業経済部、清掃部及び地域行政センター（特別出張所の所管事項に限る。）に関する事
健康福祉	10人	保健福祉部、保健所及び地域行政センター（地域福祉課、地域健康課及び生活福祉課の所管事項に限る。）に関する事
都市整備	10人	まちづくり推進部、交通事業本部及び地域行政センター（まちなみ整備課の所管事項に限る。）に関する事
こども文教	10人	こども育成部及び教育委員会に関する事

平成21年12月28日現在

名 称	委員定数	所 管
総務財政	10人 (現員9人)	経営管理部、会計管理室、選挙管理委員会及び監査委員に関する事並びに他の常任委員会に属しないこと
地域・産業	10人	地域振興部、区民部及び産業経済部に関する事
保健福祉	10人	福祉部及び保健所に関する事
都市・環境	10人	まちづくり推進部、都市基盤整備部、連続立体事業本部及び環境清掃部に関する事
こども文教	10人 (現員9人)	こども家庭部及び教育委員会に関する事

③議会運営委員会

所属議員が4名以上の会派から4名に1名の割合で選出された委員で構成される。ただし、3名会派についても委員1名を選出できるものとしている。任期は1年である。

平成21年12月28日現在

名 称	委員定数	調 査 事 項
議 会 運 営	13人 (現員8人)	1 議会の運営について 2 議会日程の調整について 3 会議規則、委員会条例等の取扱いについて 4 議長の諮問に関する事項について

④特別委員会

特別委員会はあるとき、議会の議決で設置され、委員の定数も議決で定められる。

平成21年12月28日現在

名 称	委員定数	調 査 事 件
開発・観光対策	12人	1 中心核及び地域核の整備・開発について 2 観光のまち大田づくりについて 3 水と緑のネットワーク整備について
交通問題調査	12人	1 京浜急行連続立体交差事業の推進について 2 交通網整備等に関する対策について
羽田空港対策	11人 (現員10人)	1 羽田空港の空港機能について 2 羽田空港の跡地利用について 3 羽田空港周辺及び臨海部(埋立地の帰属問題を除く)に関する事業について
防災・安全対策	11人 (現員10人)	1 防災対策について 2 危機管理対策について 3 地域防犯対策について
予 算 (設置期間) 21. 2. 27～3. 23	議長を除く 全 議 員	1 次年度各会計予算について
決 算 (設置期間) 21. 9. 17～10. 9	議長及び議員 選出監査委員 を除く全議員	1 前年度各会計決算について

⑤委員会所属議員名簿

平成21年3月31日まで

委員会		委員長	副委員長	委員		
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	伊藤 和弘	勝亦 聡	高瀬 三徳 富田 俊一 ※黒沼 良光	※河津 章夫 都野 圭子 和田 正子	岸田 哲治 柳ヶ瀬裕文
	生活産業委員会 (定数10人)	古山 昌子	塩野目正樹	近藤 忠夫 岡元 由美 野呂 恵子	※安藤 充 岸田 正 ※清水 菊美	高橋 博 荒木 秀樹
	健康福祉委員会 (定数10人)	山崎 勝広	鈴木 隆之	水井 達興 ※飯田 茂 佐藤 伸	松原 秀典 丸山 かよ 藤原 幸雄	※押見 隆太 黒川 仁
	都市整備委員会 (定数10人)	溝口 誠	森 愛	※田中 一吉 清波 貞子 西村健志郎	※海老澤信吉 松本 洋之 ※大竹 辰治	松原茂登樹 奈須 利江
	こども文教委員会 (定数10人)	大森 昭彦	荒川 善夫	永井 敬臣 渡部登志雄 ※菅谷 郁恵	※湯本良太郎 木村 勝 金子 悦子	鈴木 康文 犬伏 秀一
議会運営委員会 (定数13人)		安藤 充	渡部登志雄	高瀬 三徳 富田 俊一 和田 正子	湯本良太郎 勝亦 聡 藤原 幸雄	河津 章夫 都野 圭子
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	松原茂登樹	木村 勝	※田中 一吉 ※荒川 善夫 森 愛 黒沼 良光	伊藤 和弘 古山 昌子 奈須 利江	河津 章夫 勝亦 聡 ※清水 菊美
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	高橋 博	鈴木 康文	水井 達興 溝口 誠 柳ヶ瀬裕文 ※大竹 辰治	※鈴木 隆之 岡元 由美 野呂 恵子	松原 秀典 都野 圭子 金子 悦子
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	湯本良太郎	富田 俊一	塩野目正樹 飯田 茂 犬伏 秀一	安藤 充 山崎 勝広 菅谷 郁恵	※岸田 哲治 岸田 正 ※藤原 幸雄
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	海老澤信吉	黒川 仁	※高瀬 三徳 渡部登志雄 西村健志郎	大森 昭彦 ※丸山 かよ ※佐藤 伸	押見 隆太 荒木 秀樹 和田 正子

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成21年4月1日から5月25日まで

委員会		委員長	副委員長	委員			
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	伊藤 和弘	勝亦 聡	高瀬 三徳 富田 俊一 ※黒沼 良光	※河津 章夫 都野 圭子 和田 正子	岸田 哲治 柳ヶ瀬裕文	
	地域・産業委員会 (定数10人)	古山 昌子	塩野目正樹	近藤 忠夫 岡元 由美 野呂 恵子	※安藤 充 岸田 正 ※清水 菊美	高橋 博 荒木 秀樹	
	保健福祉委員会 (定数10人)	山崎 勝広	鈴木 隆之	水井 達興 ※飯田 茂 佐藤 伸	松原 秀典 丸山 かよ 藤原 幸雄	※押見 隆太 黒川 仁	
	都市・環境委員会 (定数10人)	溝口 誠	森 愛	※田中 一吉 清波 貞子 西村健志郎	※海老澤信吉 松本 洋之 ※大竹 辰治	松原茂登樹 奈須 利江	
	こども文教委員会 (定数10人)	大森 昭彦	荒川 善夫	永井 敬臣 渡部登志雄 ※菅谷 郁恵	※湯本良太郎 木村 勝 金子 悦子	鈴木 康文 犬伏 秀一	
議会運営委員会 (定数13人)		安藤 充	渡部登志雄	高瀬 三徳 富田 俊一 和田 正子	湯本良太郎 勝亦 聡 藤原 幸雄	河津 章夫 都野 圭子	
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	松原茂登樹	木村 勝	※田中 一吉 ※荒川 善夫 森 愛 黒沼 良光	伊藤 和弘 古山 昌子 奈須 利江	河津 章夫 勝亦 聡 ※清水 菊美	
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	高橋 博	鈴木 康文	水井 達興 溝口 誠 柳ヶ瀬裕文 ※大竹 辰治	※鈴木 隆之 岡元 由美 野呂 恵子	松原 秀典 都野 圭子 金子 悦子	
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	湯本良太郎	富田 俊一	塩野目正樹 飯田 茂 犬伏 秀一	安藤 充 山崎 勝広 菅谷 郁恵	※岸田 哲治 岸田 正 ※藤原 幸雄	
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	海老澤信吉	黒川 仁	※高瀬 三徳 渡部登志雄 西村健志郎	大森 昭彦 ※丸山 かよ ※佐藤 伸	押見 隆太 荒木 秀樹 和田 正子	

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成21年5月25日から5月28日まで

委員会		委員長	副委員長	委員			
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	湯本良太郎	岡元 由美	水井 達興 富田 俊一 和田 正子	河津 章夫 都野 圭子 藤原 幸雄	大森 昭彦 柳ヶ瀬裕文	
	地域・産業委員会 (定数10人)	渡部登志雄	黒川 仁	田中 一吉 押見 隆太 荒木 秀樹	近藤 忠夫 清波 貞子 大竹 辰治	松原 秀典 勝亦 聡	
	保健福祉委員会 (定数10人)	木村 勝	鈴木 隆之	永井 敬臣 荒川 善夫 佐藤 伸	岸田 哲治 松本 洋之 金子 悦子	鈴木 康文 岸田 正	
	都市・環境委員会 (定数10人)	飯田 茂	松原茂登樹	伊藤 和弘 丸山 かよ 西村健志郎	安藤 充 森 愛 清水 菊美	古山 昌子 奈須 利江	
	こども文教委員会 (定数10人)	塩野目正樹	溝口 誠	高瀬 三徳 山崎 勝広 菅谷 郁恵	海老澤信吉 犬伏 秀一 黒沼 良光	高橋 博 野呂 恵子	
議会運営委員会 (定数13人)		河津 章夫	清波 貞子	高瀬 三徳 富田 俊一 清水 菊美	湯本良太郎 岡元 由美 和田 正子	大森 昭彦 都野 圭子	
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	松原 秀典	都野 圭子	高瀬 三徳 松本 洋之 犬伏 秀一 大竹 辰治	伊藤 和弘 岡元 由美 奈須 利江	大森 昭彦 森 愛 佐藤 伸	
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	田中 一吉	荒川 善夫	塩野目正樹 飯田 茂 木村 勝 藤原 幸雄	海老澤信吉 清波 貞子 西村健志郎	鈴木 康文 山崎 勝広 金子 悦子	
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	富田 俊一	押見 隆太	湯本良太郎 溝口 誠 黒川 仁	鈴木 隆之 渡部登志雄 清水 菊美	安藤 充 柳ヶ瀬裕文 菅谷 郁恵	
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	岸田 哲治	水井 達興	河津 章夫 勝亦 聡 野呂 恵子	松原茂登樹 岸田 正 黒沼 良光	高橋 博 荒木 秀樹 和田 正子	

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成21年5月28日から5月31日まで

委員会		委員長	副委員長	委員			
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	湯本良太郎	岡元 由美	水井 達興 富田 俊一 和田 正子	河津 章夫 都野 圭子 ※藤原 幸雄	※大森 昭彦 柳ヶ瀬裕文	
	地域・産業委員会 (定数10人)	渡部登志雄	黒川 仁	田中 一吉 押見 隆太 荒木 秀樹	近藤 忠夫 清波 貞子 大竹 辰治	松原 秀典 勝亦 聡	
	保健福祉委員会 (定数10人)	木村 勝	鈴木 隆之	永井 敬臣 荒川 善夫 佐藤 伸	岸田 哲治 松本 洋之 金子 悦子	鈴木 康文 岸田 正	
	都市・環境委員会 (定数10人)	飯田 茂	松原茂登樹	伊藤 和弘 丸山 かよ 西村健志郎	安藤 充 森 愛 清水 菊美	古山 昌子 奈須 利江	
	こども文教委員会 (定数10人)	塩野目正樹	溝口 誠	高瀬 三徳 山崎 勝広 菅谷 郁恵	海老澤信吉 犬伏 秀一 黒沼 良光	高橋 博 野呂 恵子	
議会運営委員会 (定数13人)		河津 章夫	清波 貞子	高瀬 三徳 富田 俊一 清水 菊美	湯本良太郎 岡元 由美 和田 正子	大森 昭彦 都野 圭子	
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	松原 秀典	都野 圭子	高瀬 三徳 松本 洋之 犬伏 秀一 大竹 辰治	伊藤 和弘 岡元 由美 奈須 利江	大森 昭彦 森 愛 佐藤 伸	
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	田中 一吉	荒川 善夫	塩野目正樹 飯田 茂 木村 勝 藤原 幸雄	海老澤信吉 清波 貞子 西村健志郎	鈴木 康文 山崎 勝広 金子 悦子	
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	富田 俊一	押見 隆太	湯本良太郎 溝口 誠 黒川 仁	鈴木 隆之 渡部登志雄 清水 菊美	安藤 充 柳ヶ瀬裕文 菅谷 郁恵	
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	岸田 哲治	水井 達興	河津 章夫 勝亦 聡 野呂 恵子	松原茂登樹 岸田 正 黒沼 良光	高橋 博 荒木 秀樹 和田 正子	

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成21年5月31日から6月9日まで

委員会		委員長	副委員長	委員			
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	湯本良太郎	岡元 由美	水井 達興 富田 俊一 ※藤原 幸雄	河津 章夫 都野 圭子	※大森 昭彦 和田 正子	
	地域・産業委員会 (定数10人)	渡部登志雄	黒川 仁	田中 一吉 押見 隆太 荒木 秀樹	近藤 忠夫 清波 貞子 大竹 辰治	松原 秀典 勝亦 聡	
	保健福祉委員会 (定数10人)	木村 勝	鈴木 隆之	永井 敬臣 荒川 善夫 佐藤 伸	岸田 哲治 松本 洋之 金子 悦子	鈴木 康文 岸田 正	
	都市・環境委員会 (定数10人)	飯田 茂	松原茂登樹	伊藤 和弘 丸山 かよ 西村健志郎	安藤 充 森 愛 清水 菊美	古山 昌子 奈須 利江	
	こども文教委員会 (定数10人)	塩野目正樹	溝口 誠	高瀬 三徳 山崎 勝広 菅谷 郁恵	海老澤信吉 犬伏 秀一 黒沼 良光	高橋 博 野呂 恵子	
議会運営委員会 (定数13人)		河津 章夫	清波 貞子	高瀬 三徳 富田 俊一 清水 菊美	湯本良太郎 岡元 由美 和田 正子	大森 昭彦 都野 圭子	
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	松原 秀典	都野 圭子	高瀬 三徳 松本 洋之 犬伏 秀一 大竹 辰治	伊藤 和弘 岡元 由美 奈須 利江	大森 昭彦 森 愛 佐藤 伸	
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	田中 一吉	荒川 善夫	塩野目正樹 飯田 茂 木村 勝 藤原 幸雄	海老澤信吉 清波 貞子 西村健志郎	鈴木 康文 山崎 勝広 金子 悦子	
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	富田 俊一	押見 隆太	湯本良太郎 溝口 誠 清水 菊美	鈴木 隆之 渡部登志雄 菅谷 郁恵	安藤 充 黒川 仁	
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	岸田 哲治	水井 達興	河津 章夫 勝亦 聡 野呂 恵子	松原茂登樹 岸田 正 黒沼 良光	高橋 博 荒木 秀樹 和田 正子	

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成21年6月9日から6月12日まで

委員会		委員長	副委員長	委員			
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	湯本良太郎	岡元 由美	水井 達興 富田 俊一 ※藤原 幸雄	河津 章夫 都野 圭子	※大森 昭彦 和田 正子	
	地域・産業委員会 (定数10人)	渡部登志雄	黒川 仁	※田中 一吉 ※押見 隆太 荒木 秀樹	近藤 忠夫 清波 貞子 ※大竹 辰治	松原 秀典 勝亦 聡	
	保健福祉委員会 (定数10人)	木村 勝	鈴木 隆之	永井 敬臣 荒川 善夫 佐藤 伸	岸田 哲治 ※松本 洋之 金子 悦子	※鈴木 康文 岸田 正	
	都市・環境委員会 (定数10人)	飯田 茂	松原茂登樹	※伊藤 和弘 丸山 かよ 西村健志郎	安藤 充 森 愛 ※清水 菊美	古山 昌子 奈須 利江	
	こども文教委員会 (定数10人)	塩野目正樹	溝口 誠	高瀬 三徳 山崎 勝広 ※菅谷 郁恵	※海老澤信吉 犬伏 秀一 黒沼 良光	高橋 博 野呂 恵子	
議会運営委員会 (定数13人)		河津 章夫	清波 貞子	高瀬 三徳 富田 俊一 清水 菊美	湯本良太郎 岡元 由美 和田 正子	大森 昭彦 都野 圭子	
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	松原 秀典	都野 圭子	高瀬 三徳 松本 洋之 犬伏 秀一 大竹 辰治	伊藤 和弘 岡元 由美 奈須 利江	大森 昭彦 森 愛 佐藤 伸	
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	田中 一吉	荒川 善夫	塩野目正樹 飯田 茂 木村 勝 藤原 幸雄	海老澤信吉 清波 貞子 西村健志郎	鈴木 康文 山崎 勝広 金子 悦子	
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	富田 俊一	押見 隆太	湯本良太郎 溝口 誠 清水 菊美	鈴木 隆之 渡部登志雄 菅谷 郁恵	安藤 充 黒川 仁	
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	岸田 哲治	水井 達興	河津 章夫 勝亦 聡 野呂 恵子	松原茂登樹 岸田 正 黒沼 良光	高橋 博 荒木 秀樹 和田 正子	

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成21年6月12日から6月17日まで

委員会		委員長	副委員長	委員			
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	湯本良太郎	岡元 由美	水井 達興 富田 俊一 ※藤原 幸雄	河津 章夫 都野 圭子	※大森 昭彦 和田 正子	
	地域・産業委員会 (定数10人)	渡部登志雄	黒川 仁	※田中 一吉 ※押見 隆太 荒木 秀樹	近藤 忠夫 清波 貞子 ※大竹 辰治	松原 秀典 勝亦 聡	
	保健福祉委員会 (定数10人)	木村 勝	鈴木 隆之	永井 敬臣 荒川 善夫 佐藤 伸	岸田 哲治 ※松本 洋之 金子 悦子	※鈴木 康文 岸田 正	
	都市・環境委員会 (定数10人)	飯田 茂	松原茂登樹	※伊藤 和弘 丸山 かよ 西村健志郎	安藤 充 森 愛 ※清水 菊美	古山 昌子 奈須 利江	
	こども文教委員会 (定数10人)	塩野目正樹	溝口 誠	高瀬 三徳 山崎 勝広 ※菅谷 郁恵	※海老澤信吉 犬伏 秀一 黒沼 良光	高橋 博 野呂 恵子	
議会運営委員会 (定数13人)		河津 章夫	清波 貞子	高瀬 三徳 富田 俊一 清水 菊美	湯本良太郎 岡元 由美 和田 正子	大森 昭彦 都野 圭子	
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	松原 秀典	都野 圭子	高瀬 三徳 ※松本 洋之 犬伏 秀一 大竹 辰治	※伊藤 和弘 岡元 由美 奈須 利江	大森 昭彦 森 愛 ※佐藤 伸	
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	田中 一吉	荒川 善夫	塩野目正樹 飯田 茂 木村 勝 藤原 幸雄	海老澤信吉 清波 貞子 西村健志郎	※鈴木 康文 山崎 勝広 ※金子 悦子	
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	富田 俊一	押見 隆太	※湯本良太郎 溝口 誠 ※清水 菊美	鈴木 隆之 渡部登志雄 菅谷 郁恵	安藤 充 黒川 仁	
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	岸田 哲治	水井 達興	河津 章夫 勝亦 聡 野呂 恵子	松原茂登樹 岸田 正 黒沼 良光	※高橋 博 荒木 秀樹 ※和田 正子	

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成21年6月17日から7月15日まで

委員会		委員長	副委員長	委員			
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	湯本良太郎	岡元 由美	水井 達興 富田 俊一 ※藤原 幸雄	河津 章夫 都野 圭子	※大森 昭彦 和田 正子	
	地域・産業委員会 (定数10人)	渡部登志雄	黒川 仁	※田中 一吉 ※押見 隆太 荒木 秀樹	近藤 忠夫 清波 貞子 ※大竹 辰治	松原 秀典 勝亦 聡	
	保健福祉委員会 (定数10人)	木村 勝	鈴木 隆之	永井 敬臣 荒川 善夫 佐藤 伸	岸田 哲治 ※松本 洋之 金子 悦子	※鈴木 康文 岸田 正	
	都市・環境委員会 (定数10人)	飯田 茂	松原茂登樹	※伊藤 和弘 丸山 かよ 西村健志郎	安藤 充 森 愛 ※清水 菊美	古山 昌子 奈須 利江	
	こども文教委員会 (定数10人)	塩野目正樹	溝口 誠	高瀬 三徳 山崎 勝広 ※菅谷 郁恵	※海老澤信吉 犬伏 秀一	高橋 博 野呂 恵子	
議会運営委員会 (定数13人)		河津 章夫	清波 貞子	高瀬 三徳 富田 俊一 清水 菊美	湯本良太郎 岡元 由美 和田 正子	大森 昭彦 都野 圭子	
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	松原 秀典	都野 圭子	高瀬 三徳 ※松本 洋之 犬伏 秀一 大竹 辰治	※伊藤 和弘 岡元 由美 奈須 利江	大森 昭彦 森 愛 ※佐藤 伸	
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	田中 一吉	荒川 善夫	塩野目正樹 飯田 茂 木村 勝 藤原 幸雄	海老澤信吉 清波 貞子 西村健志郎	※鈴木 康文 山崎 勝広 ※金子 悦子	
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	富田 俊一	押見 隆太	※湯本良太郎 溝口 誠 ※清水 菊美	鈴木 隆之 渡部登志雄 菅谷 郁恵	安藤 充 黒川 仁	
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	岸田 哲治	水井 達興	河津 章夫 勝亦 聡 野呂 恵子	松原茂登樹 岸田 正 ※和田 正子	※高橋 博 荒木 秀樹	

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成21年7月15日から8月14日まで

委員会		委員長	副委員長	委員			
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	湯本良太郎	岡元 由美	水井 達興 富田 俊一 ※藤原 幸雄	河津 章夫 都野 圭子	※大森 昭彦 和田 正子	
	地域・産業委員会 (定数10人)	渡部登志雄	黒川 仁	※田中 一吉 ※押見 隆太 荒木 秀樹	近藤 忠夫 清波 貞子 ※大竹 辰治	松原 秀典 勝亦 聡	
	保健福祉委員会 (定数10人)	木村 勝	鈴木 隆之	永井 敬臣 荒川 善夫 佐藤 伸	岸田 哲治 ※松本 洋之 金子 悦子	※鈴木 康文 岸田 正	
	都市・環境委員会 (定数10人)	飯田 茂	松原茂登樹	※伊藤 和弘 丸山 かよ 西村健志郎	安藤 充 森 愛 ※清水 菊美	古山 昌子 奈須 利江	
	こども文教委員会 (定数10人)	塩野目正樹	溝口 誠	高瀬 三徳 山崎 勝広 ※菅谷 郁恵	※海老澤信吉 犬伏 秀一	高橋 博 野呂 恵子	
議会運営委員会 (定数13人)		河津 章夫	清波 貞子	高瀬 三徳 富田 俊一 和田 正子	湯本良太郎 岡元 由美	大森 昭彦 都野 圭子	
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	松原 秀典	都野 圭子	高瀬 三徳 ※松本 洋之 犬伏 秀一 大竹 辰治	※伊藤 和弘 岡元 由美 奈須 利江	大森 昭彦 森 愛 ※佐藤 伸	
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	田中 一吉	荒川 善夫	塩野目正樹 飯田 茂 木村 勝 藤原 幸雄	海老澤信吉 清波 貞子 西村健志郎	※鈴木 康文 山崎 勝広 ※金子 悦子	
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	富田 俊一	押見 隆太	※湯本良太郎 溝口 誠 ※清水 菊美	鈴木 隆之 渡部登志雄 菅谷 郁恵	安藤 充 黒川 仁	
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	岸田 哲治	水井 達興	河津 章夫 勝亦 聡 野呂 恵子	松原茂登樹 岸田 正 ※和田 正子	※高橋 博 荒木 秀樹	

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成21年8月14日から11月12日まで

委員会		委員長	副委員長	委員			
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	湯本良太郎	岡元 由美	水井 達興 富田 俊一 ※藤原 幸雄	河津 章夫 都野 圭子	※大森 昭彦 和田 正子	
	地域・産業委員会 (定数10人)	渡部登志雄	黒川 仁	※田中 一吉 ※押見 隆太 荒木 秀樹	近藤 忠夫 清波 貞子 ※大竹 辰治	松原 秀典 勝亦 聡	
	保健福祉委員会 (定数10人)	木村 勝	鈴木 隆之	永井 敬臣 荒川 善夫 佐藤 伸	岸田 哲治 ※松本 洋之 金子 悦子	※鈴木 康文 岸田 正	
	都市・環境委員会 (定数10人)	飯田 茂	松原茂登樹	※伊藤 和弘 丸山 かよ 西村健志郎	安藤 充 森 愛 ※清水 菊美	古山 昌子 奈須 利江	
	こども文教委員会 (定数10人)	塩野目正樹	溝口 誠	高瀬 三徳 山崎 勝広 ※菅谷 郁恵	※海老澤信吉 犬伏 秀一	高橋 博 野呂 恵子	
議会運営委員会 (定数13人)		河津 章夫	清波 貞子	高瀬 三徳 富田 俊一 和田 正子	湯本良太郎 岡元 由美	大森 昭彦 木村 勝	
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	松原 秀典	都野 圭子	高瀬 三徳 ※松本 洋之 犬伏 秀一 大竹 辰治	※伊藤 和弘 岡元 由美 奈須 利江	大森 昭彦 森 愛 ※佐藤 伸	
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	田中 一吉	荒川 善夫	塩野目正樹 飯田 茂 木村 勝 藤原 幸雄	海老澤信吉 清波 貞子 西村健志郎	※鈴木 康文 山崎 勝広 ※金子 悦子	
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	富田 俊一	押見 隆太	※湯本良太郎 溝口 誠 ※清水 菊美	鈴木 隆之 渡部登志雄 菅谷 郁恵	安藤 充 黒川 仁	
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	岸田 哲治	水井 達興	河津 章夫 勝亦 聡 野呂 恵子	松原茂登樹 岸田 正 ※和田 正子	※高橋 博 荒木 秀樹	

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成21年11月12日から11月16日まで

委員会		委員長	副委員長	委員			
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	湯本良太郎	岡元 由美	水井 達興 富田 俊一 ※藤原 幸雄	河津 章夫 都野 圭子	※大森 昭彦 和田 正子	
	地域・産業委員会 (定数10人)	渡部登志雄	黒川 仁	※田中 一吉 ※押見 隆太 荒木 秀樹	近藤 忠夫 清波 貞子 ※大竹 辰治	松原 秀典 勝亦 聡	
	保健福祉委員会 (定数10人)	木村 勝	鈴木 隆之	永井 敬臣 荒川 善夫 佐藤 伸	※岸田 哲治 ※松本 洋之 ※金子 悦子	鈴木 康文 岸田 正	
	都市・環境委員会 (定数10人)	飯田 茂	松原茂登樹	※伊藤 和弘 丸山 かよ 西村健志郎	安藤 充 森 愛 ※清水 菊美	古山 昌子 奈須 利江	
	こども文教委員会 (定数10人)	塩野目正樹	溝口 誠	高瀬 三徳 山崎 勝広 ※菅谷 郁恵	※海老澤信吉 犬伏 秀一	高橋 博 野呂 恵子	
議会運営委員会 (定数13人)		河津 章夫	清波 貞子	高瀬 三徳 富田 俊一 和田 正子	湯本良太郎 岡元 由美	大森 昭彦 木村 勝	
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	松原 秀典	都野 圭子	高瀬 三徳 ※松本 洋之 犬伏 秀一 大竹 辰治	※伊藤 和弘 岡元 由美 奈須 利江	大森 昭彦 森 愛 ※佐藤 伸	
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	田中 一吉	荒川 善夫	塩野目正樹 飯田 茂 木村 勝 藤原 幸雄	海老澤信吉 清波 貞子 西村健志郎	※鈴木 康文 山崎 勝広 ※金子 悦子	
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	富田 俊一	押見 隆太	※湯本良太郎 溝口 誠 ※清水 菊美	鈴木 隆之 渡部登志雄 菅谷 郁恵	安藤 充 黒川 仁	
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	岸田 哲治	水井 達興	河津 章夫 勝亦 聡 野呂 恵子	松原茂登樹 岸田 正 ※和田 正子	※高橋 博 荒木 秀樹	

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成21年11月16日から12月3日まで

委員会		委員長	副委員長	委員			
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	湯本良太郎	岡元 由美	水井 達興 富田 俊一 ※藤原 幸雄	河津 章夫 都野 圭子	※大森 昭彦 和田 正子	
	地域・産業委員会 (定数10人)	渡部登志雄	黒川 仁	※田中 一吉 近藤 忠夫 荒木 秀樹	松原 秀典 清波 貞子 ※大竹 辰治	※押見 隆太 勝亦 聡	
	保健福祉委員会 (定数10人)	木村 勝	鈴木 隆之	永井 敬臣 荒川 善夫 佐藤 伸	鈴木 康文 ※松本 洋之 ※金子 悦子	※岸田 哲治 岸田 正	
	都市・環境委員会 (定数10人)	飯田 茂	松原茂登樹	安藤 充 丸山 かよ 西村健志郎	※伊藤 和弘 森 愛 ※清水 菊美	古山 昌子 奈須 利江	
	こども文教委員会 (定数10人)	塩野目正樹	溝口 誠	高瀬 三徳 山崎 勝広 ※菅谷 郁恵	※海老澤信吉 犬伏 秀一	高橋 博 野呂 恵子	
議会運営委員会 (定数13人)		河津 章夫	清波 貞子	高瀬 三徳 岡元 由美	安藤 充 木村 勝	富田 俊一 和田 正子	
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	松原 秀典	都野 圭子	高瀬 三徳 ※松本 洋之 犬伏 秀一 大竹 辰治	※伊藤 和弘 岡元 由美 奈須 利江	大森 昭彦 森 愛 ※佐藤 伸	
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	田中 一吉	荒川 善夫	塩野目正樹 飯田 茂 木村 勝 藤原 幸雄	※鈴木 康文 清波 貞子 西村健志郎	海老澤信吉 山崎 勝広 ※金子 悦子	
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	富田 俊一	押見 隆太	※湯本良太郎 溝口 誠 ※清水 菊美	安藤 充 渡部登志雄 菅谷 郁恵	鈴木 隆之 黒川 仁	
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	岸田 哲治	水井 達興	河津 章夫 勝亦 聡 野呂 恵子	松原茂登樹 岸田 正 ※和田 正子	※高橋 博 荒木 秀樹	

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

平成21年12月3日から12月28日まで

委員会		委員長	副委員長	委員			
常任委員会	総務財政委員会 (定数10人)	湯本良太郎	岡元 由美	水井 達興 富田 俊一 ※藤原 幸雄	河津 章夫 都野 圭子	※大森 昭彦 和田 正子	
	地域・産業委員会 (定数10人)	渡部登志雄	黒川 仁	※田中 一吉 近藤 忠夫 荒木 秀樹	松原 秀典 清波 貞子 ※大竹 辰治	※押見 隆太 勝亦 聡	
	保健福祉委員会 (定数10人)	木村 勝	鈴木 隆之	永井 敬臣 荒川 善夫 佐藤 伸	鈴木 康文 ※松本 洋之 ※金子 悦子	※岸田 哲治 岸田 正	
	都市・環境委員会 (定数10人)	飯田 茂	松原茂登樹	安藤 充 丸山 かよ 西村健志郎	※伊藤 和弘 森 愛 ※清水 菊美	古山 昌子 奈須 利江	
	こども文教委員会 (定数10人)	塩野目正樹	溝口 誠	高瀬 三徳 山崎 勝広 ※菅谷 郁恵	※海老澤信吉 犬伏 秀一	高橋 博 野呂 恵子	
議会運営委員会 (定数13人)		河津 章夫	清波 貞子	高瀬 三徳 岡元 由美	安藤 充 木村 勝	富田 俊一 和田 正子	
特別委員会	開発・観光対策特別委員会 (定数12人)	松原 秀典	都野 圭子	高瀬 三徳 ※松本 洋之 犬伏 秀一 大竹 辰治	※伊藤 和弘 岡元 由美 奈須 利江	大森 昭彦 森 愛 ※佐藤 伸	
	交通問題調査特別委員会 (定数12人)	田中 一吉	荒川 善夫	塩野目正樹 飯田 茂 木村 勝 藤原 幸雄	鈴木 康文 清波 貞子 西村健志郎	※海老澤信吉 山崎 勝広 ※金子 悦子	
	羽田空港対策特別委員会 (定数11人)	富田 俊一	押見 隆太	※湯本良太郎 溝口 誠 ※清水 菊美	安藤 充 渡部登志雄 菅谷 郁恵	鈴木 隆之 黒川 仁	
	防災・安全対策特別委員会 (定数11人)	岸田 哲治	水井 達興	河津 章夫 勝亦 聡 野呂 恵子	松原茂登樹 岸田 正 ※和田 正子	※高橋 博 荒木 秀樹	

- 1 氏名順は議席番号順
- 2 氏名の前の※印は理事

委員会		委員長	副委員長	委員
特別委員会	予算特別委員会 (定数49人) 設置期間 21.2.27~3.23	丸山 かよ	松原茂登樹	議長を除く全議員(委員名は省略)
	決算特別委員会 (定数45人) 設置期間 21.9.17~10.9	勝亦 聡	鈴木 康文	議長及び議員選出監査委員を除く全議員(委員名は省略)

2 議会活動

(1) 本会議

① 定例会

定例会	期 間	会期	開催日数
第1回	2月20日～3月25日	34日	5日
第2回	6月5日～6月16日	12日	3日
第3回	9月16日～10月14日	29日	4日
第4回	11月26日～12月7日	12日	3日

② 臨時会

臨時会	期 間	会期	開催日数
第1回	5月25日	1日	1日
第2回	5月28日	1日	1日

(2) 常任委員会・特別委員会開催回数

委員会		月												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
常任委員会	総務財政	1	1	3	1	4	2	1	1	2	1	3	2	22
	生活産業	1	1	3	/	/	/	/	/	/	/	/	/	5
	地域・産業	/	/	/	1	2	2	1	1	2	1	2	2	14
	健康福祉	1	1	3	/	/	/	/	/	/	/	/	/	5
	保健福祉	/	/	/	1	2	2	1	1	2	1	2	2	14
	都市整備	1	1	3	/	/	/	/	/	/	/	/	/	5
	都市・環境	/	/	/	1	3	2	1	1	2	2	2	2	16
	こども文教	1	1	3	1	2	2	1	1	2	2	1	2	19
	小計	5	5	15	5	13	10	5	5	10	7	10	10	100
議会運営委員会		0	4	4	0	7	4	0	0	6	1	4	3	33
特別委員会	開発・観光対策	1	1	2	1	2	1	1	1	1	0	1	1	13
	交通問題調査	1	0	2	1	2	1	2	1	1	0	1	1	13
	羽田空港対策	1	1	2	1	2	1	1	1	2	0	1	1	14
	防災・安全対策	1	0	1	1	2	1	1	1	1	0	1	1	11
	予算	0	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	決算	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	8
	小計	4	3	16	4	8	4	5	4	7	6	4	4	69
合計		9	12	35	9	28	18	10	9	23	14	18	17	202

(3) その他の会議開催回数

会議	月												計	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
合同委員長会	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

(4) 種類別議決件数

①議案、事件

種 別	件数	種 別	件数
条例	73	土地の取得、処分	0
規則	0	同意	5
予算	17	答申	10
決算	5	報告(承認を必要とするもの)	2
契約	14	協議	0
財産	0	指定管理者の指定	4
負担付寄付、贈与の受領	1	購入	1
意見の陳述	0	損害賠償額の決定	1
訴えの提起、和解	2	決議、意見書の提出	4
特別区道路線の認定、廃止	3	議員提出事件(除中間報告)	22
公の施設の廃止	0	合 計	164

②選挙

種 別	件数
選挙	2

③報告、事件

種 別	件数
報告(報告のみのもの)	22
議員提出事件(中間報告)	4

④請願・陳情

結 果	請 願	陳 情
採 択	0	11
不 採 択	3	48
取 下	0	6
審議未了	0	0
継 続	2	65
合 計	5	130

(5) 議決事項一覧表

①区長提出議案 (115件)

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派	付託委員会
第1回定例会	1	平成21年度大田区一般会計予算	21. 3. 25	原案可決	共産、緑	予算特別
	2	平成21年度大田区国民健康保険事業特別会計予算	21. 3. 25	原案可決	共産、緑、社民	予算特別
	3	平成21年度大田区老人保健医療特別会計予算	21. 3. 25	原案可決	共産	予算特別
	4	平成21年度大田区後期高齢者医療特別会計予算	21. 3. 25	原案可決	共産、緑、社民	予算特別
	5	平成21年度大田区介護保険特別会計予算	21. 3. 25	原案可決	共産	予算特別
	6	平成20年度大田区一般会計補正予算(第5次)	21. 3. 9	原案可決	共産、社民 (退席: ネット)	総務財政
	7	平成20年度大田区国民健康保険事業特別会計補正予算(第2次)	21. 3. 9	原案可決		総務財政
	8	平成20年度大田区介護保険特別会計補正予算(第2次)	21. 3. 9	原案可決		総務財政
	9	大田区組織条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決	緑、ネット	総務財政
	10	大田区職員定数条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決	共産、緑、ネット(退席: 民主2)	総務財政
	11	職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		総務財政
	12	外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決	共産、社民	総務財政
	13	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決	共産、社民	総務財政
	14	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決	共産、社民	総務財政
	15	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決	共産、社民	総務財政
	16	職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決	共産、社民	総務財政

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第1回 定例会	17	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決	共産、社民	総務財政
	18	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		総務財政
	19	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決	共産、社民	総務財政
	20	大田区積立基金条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		総務財政
	21	大田区地域行政センター設置条例を廃止する条例	21. 3. 9	原案可決	社民	総務財政
	22	大田区産業連携支援施設条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		生活産業
	23	大田区公害診療報酬等審査会条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		健康福祉
	24	大田区大気汚染障害者認定審査会条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		健康福祉
	25	大田区の福祉に関する事務所設置条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		健康福祉
	26	大田区老人いこいの家条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		健康福祉
	27	大田区立特別養護老人ホーム条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決	共産、ネット	健康福祉
	28	大田区立高齢者在宅サービスセンター条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決	共産、ネット	健康福祉
	29	大田区障害者自立支援法に基づく介護給付費等の支給に関する審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		健康福祉
	30	大田区保健所の設置等に関する条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		健康福祉

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第1回 定例会	31	大田区保健所運営協議会条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		健康福祉
	32	大田区地域行政センターにおける試験検査等の使用料及び診断書等の手数料に関する条例を廃止する条例	21. 3. 9	原案可決	社民	健康福祉
	33	大田区公衆便所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		都市整備
	34	大田区営住宅条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		都市整備
	35	大田区ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		こども文教
	36	大田区乳幼児及び義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		こども文教
	37	大田区立児童館条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		こども文教
	38	大田区立保育園条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決	共産	こども文教
	39	幼稚園教育職員の給与に関する条例を廃止する条例	21. 3. 9	原案可決	共産、社民	こども文教
	40	幼稚園教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例を廃止する条例	21. 3. 9	原案可決	共産、社民	こども文教
	41	大田区立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決		こども文教
	42	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例を廃止する条例	21. 3. 9	原案可決	共産、社民	こども文教
	43	包括外部監査契約の締結について	21. 3. 9	原案可決		総務財政

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派	付託委員会
第1回定例会	44	大田区立東調布中学校体育館改修その他工事請負契約の変更について	21. 3. 9	原案可決	社民	総務財政
	45	大田区区民活動支援施設の指定管理者の指定について	21. 3. 9	原案可決	(退席：ネット)	生活産業
	46	大田区立知的障害者援護施設の指定管理者の指定について	21. 3. 9	原案可決	共産	健康福祉
	47	大田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	21. 3. 9	原案可決	共産、緑、社民	健康福祉
	48	土地の収用に係る和解について	21. 3. 9	原案可決	(退席：改革)	交通問題 調査特別
	49	大田区手数料条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	21. 3. 25	原案可決		総務財政
	50	大田区立知的障害者援護施設条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	21. 3. 25	原案可決		健康福祉
	51	大田区立新蒲田福祉センター条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	21. 3. 25	原案可決		健康福祉
	52	大田区立上池台障害者福祉会館条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	21. 3. 25	原案可決		健康福祉
	53	平成20年度大田区一般会計補正予算(第6次)	21. 3. 25	原案可決	民主、緑、社民、ネット(退席：改革)	総務財政
	54	平成20年度大田区介護保険特別会計補正予算(第3次)	21. 3. 25	原案可決		総務財政
	55	大田区介護従事者処遇改善臨時特例基金条例	21. 3. 25	原案可決		健康福祉
	56	大田区介護保険条例の一部を改正する条例	21. 3. 25	原案可決	共産、社民	健康福祉
第1回臨時会	57	大田区手数料条例の一部を改正する条例	21. 5. 25	原案可決		総務財政
	58	小型プレス車4台の購入について	21. 5. 25	原案可決	区民の会、改革、ネット	総務財政

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派	付託委員会
第2回臨時会	59	大田区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	21. 5. 28	原案可決		総務財政
	60	大田区監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	21. 5. 28	原案可決		総務財政
	61	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	21. 5. 28	原案可決	共産、区民の会	総務財政
	62	大田区教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	21. 5. 28	原案可決		総務財政
	63	大田区議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	21. 5. 28	原案可決		総務財政
第2回定例会	64	平成21年度大田区一般会計補正予算（第1次）	21. 6. 16	原案可決	緑、区民の会、ネット	総務財政
	65	大田区特別区税条例等の一部を改正する条例	21. 6. 16	原案可決		地域・産業
	66	大田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	21. 6. 16	原案可決		地域・産業
	67	大田区後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	21. 6. 16	原案可決		地域・産業
	68	大田区介護保険条例の一部を改正する条例	21. 6. 16	原案可決		保健福祉
	69	八幡橋架替工事（その1下部工）請負契約について	21. 6. 16	原案可決	区民の会（退席：改革）	総務財政
	70	仮称東糝谷四丁目公園造成工事その1請負契約について	21. 6. 16	原案可決	区民の会、改革	総務財政
	71	大田区田園調布一丁目付近枝線その13工事（下水道）請負契約について	21. 6. 16	原案可決	区民の会、改革	総務財政
	72	大田区田園調布二丁目付近枝線その17工事（下水道）請負契約について	21. 6. 16	原案可決	区民の会、改革	総務財政

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第2回 定例会	73	仮称大田区総合体育館改築 工事請負契約について	21. 6. 16	原案可決	区民の会、 改革、ネット（退席： 大田自民2、 自民1、民主 2、自民大 田）	総務財政
	74	大田区立鶴の木保育園改築 工事請負契約について	21. 6. 16	原案可決	区民の会、 改革	総務財政
	75	大田区立矢口小学校プール 改築その他工事請負契約に ついて	21. 6. 16	原案可決	区民の会 （退席：改 革）	総務財政
	76	仮称大田区総合体育館改築 電気設備工事請負契約につ いて	21. 6. 16	原案可決	区民の会 （退席：改 革）	総務財政
	77	仮称大田区総合体育館改築 機械設備工事請負契約につ いて	21. 6. 16	原案可決	区民の会、 改革	総務財政
	78	特別区道路線の認定につい て	21. 6. 16	原案可決		都市・環境
	79	区の義務に属する損害賠償 の額の決定について	21. 6. 16	原案可決		都市・環境
第3回 定例会	80	平成20年度大田区一般会計 歳入歳出決算	21. 10. 14	原案可決	共産、緑、 区民の会、 改革	決算特別
	81	平成20年度大田区国民健康 保険事業特別会計歳入歳出 決算	21. 10. 14	原案可決	共産、緑、 区民の会	決算特別
	82	平成20年度大田区老人保健 医療特別会計歳入歳出決算	21. 10. 14	原案可決	共産	決算特別
	83	平成20年度大田区後期高齢 者医療特別会計歳入歳出決 算	21. 10. 14	原案可決	共産、緑、 区民の会	決算特別
	84	平成20年度大田区介護保険 特別会計歳入歳出決算	21. 10. 14	原案可決	共産、区民 の会	決算特別
	85	平成21年度大田区一般会計 補正予算（第2次）	21. 9. 30	原案可決	共産、緑、 区民の会、 改革、ネッ ト（退席： 民主）	総務財政
	86	平成21年度大田区国民健康 保険事業特別会計補正予算 （第1次）	21. 9. 30	原案可決		総務財政

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第3回 定例会	87	平成21年度大田区老人保健 医療特別会計補正予算（第1 次）	21. 9. 30	原案可決		総務財政
	88	平成21年度大田区後期高齢 者医療特別会計補正予算（第 1次）	21. 9. 30	原案可決	共産、緑、 区民の会	総務財政
	89	平成21年度大田区介護保険 特別会計補正予算（第1次）	21. 9. 30	原案可決	共産	総務財政
	90	公益的法人等への職員の派 遣等に関する条例の一部を 改正する条例	21. 9. 30	原案可決	共産、緑、 区民の会、 改革、ネッ ト	総務財政
	91	職員の退職手当に関する条 例の一部を改正する条例	21. 9. 30	原案可決	共産、緑、 区民の会、 改革、ネッ ト	総務財政
	92	大田区手数料条例の一部を 改正する条例	21. 9. 30	原案可決		総務財政
	93	大田区立区民保養所条例を 廃止する条例	21. 9. 30	原案可決	共産、緑、 区民の会、 ネット	地域・産業
	94	大田区立児童遊園条例の一 部を改正する条例	21. 9. 30	原案可決		都市・環境
	95	大森南四丁目土壌置換その 他工事請負契約について	21. 9. 30	原案可決	区民の会、 ネット（退 席：改革）	総務財政
	96	大田区大森東特別出張所改 築工事請負契約について	21. 9. 30	原案可決	区民の会、 ネット（退 席：改革）	総務財政
	97	大田区役所本庁舎照明改修 電気設備工事請負契約につ いて	21. 9. 30	原案可決	ネット	総務財政
	98	土地の負担付贈与の受入れ について	21. 9. 30	原案可決		総務財政
	99	特別区道路線の廃止につい て	21. 9. 30	原案可決		都市・環境
100	特別区道路線の認定につい て	21. 9. 30	原案可決		都市・環境	
第4回 定例会	101	平成21年度大田区一般会計 補正予算（第3次）	21. 12. 7	原案可決	区民の会	総務財政
	102	大田区中小企業融資基金条 例の一部を改正する条例	21. 12. 7	原案可決		地域・産業

会議名	番号	件名	議決 年月日	議決内容	反対会派	付託 委員会
第4回 定例会	103	大田区応急小口資金貸付条例の一部を改正する条例	21.12.7	原案可決		保健福祉
	104	社会福祉法人に対する補助金の交付に関する条例の一部を改正する条例	21.12.7	原案可決	ネット	保健福祉
	105	大田区営住宅条例の一部を改正する条例	21.12.7	原案可決		都市・環境
	106	大田区教育委員会の組織に関する条例	21.12.7	原案可決	改革、ネット	こども文教
	107	大田区立平和の森会館の指定管理者の指定について	21.12.7	原案可決	共産	地域・産業
	108	土地の収用に係る和解について	21.12.7	原案可決		交通問題 調査特別
	109	大田区立図書館の指定管理者の指定について	21.12.7	原案可決	共産、緑、 区民の会、 ネット	こども文教
	110	大田区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	21.11.27	原案可決		総務財政
	111	大田区行政委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	21.11.27	原案可決		総務財政
	112	大田区監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	21.11.27	原案可決		総務財政
	113	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	21.11.27	原案可決	共産、区民 の会	総務財政
	114	大田区教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例	21.11.27	原案可決		総務財政
	115	大田区議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	21.11.27	原案可決		総務財政

②議員提出議案（9件）

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派	付託委員会
第1回定例会	1	大田区高齢者入院見舞金の支給に関する条例	21. 3. 9	否決	公明、大田自民、自民、民主、緑、自民大田、無所属、改革、ネット	健康福祉
	2	大田区小中学校等入学支度金の支給に関する条例	21. 3. 9	否決	公明、大田自民、自民、民主、緑、自民大田、無所属、改革、ネット	こども文教
	3	大田区出産祝金条例	21. 3. 9	否決	公明、大田自民、自民、民主、緑、自民大田、無所属、改革、ネット	こども文教
	4	大田区議会委員会条例の一部を改正する条例	21. 3. 25	原案可決		なし
第1回臨時会	5	新型インフルエンザ対策に関する意見書	21. 5. 25	原案可決	区民の会	なし
第2回臨時会	6	北朝鮮の核実験に厳重に抗議する決議	21. 5. 28	原案可決		なし
第3回定例会	7	大田区高齢者入院見舞金の支給に関する条例	21. 9. 30	否決	公明、大田自民、自民、民主、緑、自民大田、無所属、改革、ネット	なし
	8	大田区出産祝金条例	21. 9. 30	否決	公明、大田自民、自民、民主、緑、自民大田、無所属、改革、ネット	なし
	9	地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書	21. 9. 30	原案可決	民主、緑、区民の会、ネット	なし

③委員会提出議案（1件）

会議名	番号	件名	議決年月日	議決内容	反対会派
第4回定例会	1	食品表示に関する制度の改正を求める意見書	21. 12. 7	原案可決	なし

④議員提出事件（26件）

会議名	件名	議決 年月日	備考
第1回 定例会	会期の決定について	21. 2. 20	可決
	予算特別委員会の設置について	21. 2. 27	可決
	予算特別委員の指名	21. 2. 27	選任
	平成21年度大田区一般会計予算の編成替えを求め る動議	21. 3. 25	否決
第1回 臨時会	会期の決定について	21. 5. 25	可決
	副議長辞職許可について	21. 5. 25	許可
	開発・観光対策特別委員会中間報告	21. 5. 25	報告
	交通問題調査特別委員会中間報告	21. 5. 25	報告
	羽田空港対策特別委員会中間報告	21. 5. 25	報告
	防災・安全対策特別委員会中間報告	21. 5. 25	報告
	常任委員及び議会運営委員選任	21. 5. 25	選任
	特別委員選任	21. 5. 25	選任
第2回 臨時会	会期の決定について	21. 5. 28	可決
第2回 定例会	議席の一部変更について	21. 6. 5	可決
	会期の決定について	21. 6. 5	可決
第3回 定例会	議席の一部変更について	21. 9. 16	可決
	会期の決定について	21. 9. 16	可決
	決算特別委員会の設置について	21. 9. 17	可決
	決算特別委員の指名	21. 9. 17	選任
	議事進行の動議について （議員提出第7号議案及び第8号議案を一括して 議題とする動議）	21. 9. 30	可決
	議事進行の動議について （議員提出第7号議案及び第8号議案の委員会付 託を省略する動議）	21. 9. 30	可決
	セーラム市親善訪問に伴う議員の派遣について	21. 9. 30	可決
北京市朝陽区親善訪問に伴う議員の派遣について	21. 9. 30	可決	
第4回 定例会	議席の一部変更について	21. 11. 26	可決
	会期の決定について	21. 11. 26	可決
	一般質問の残余六分間の質問のまとめとそれに対 する答弁を求める動議について	21. 11. 27	否決

⑤選挙（2件）

会議名	件名	議決 年月日	備考
第1回 臨時会	副議長選挙	21. 5. 25	古山 昌子議員 当選
	東京都後期高齢者医療広域連合議会議員の 選挙における候補者の推薦	21. 5. 25	溝口 誠議員 当選

⑥同意（5件）

会議名	件名	議決 年月日	備考
第1回 臨時会	議員選出監査委員	21. 5. 25	丸山 かよ議員 同意
第4回 定例会	監査委員	21. 12. 7	中井 恭子 同意
	教育委員会委員	21. 12. 7	横川 敏男 同意
	教育委員会委員	21. 12. 7	藤崎 雄三 同意
	教育委員会委員	21. 12. 7	清水 繁 同意

⑦答申（10件）

会議名	件名	議決 年月日	備考
第2回 定例会	人権擁護委員候補者の推薦について	21. 6. 16	佐々木 一幸（再任）
	人権擁護委員候補者の推薦について	21. 6. 16	橋爪 伸由（再任）
	人権擁護委員候補者の推薦について	21. 6. 16	西川 満智子（再任）
	人権擁護委員候補者の推薦について	21. 6. 16	小田部 規矩男（再任）
	人権擁護委員候補者の推薦について	21. 6. 16	石井 一平（再任）
	人権擁護委員候補者の推薦について	21. 6. 16	川崎 洋子（再任）
	人権擁護委員候補者の推薦について	21. 6. 16	牧田 章子（再任） 上記の区長推薦候補者 のとおりで異議なし
第3回 定例会	人権擁護委員候補者の推薦について	21. 10. 14	鈴木 清子（再任）
	人権擁護委員候補者の推薦について	21. 10. 14	野邊 晴子（再任）
	人権擁護委員候補者の推薦について	21. 10. 14	松本 浩子（再任） 上記の区長推薦候補者 のとおりで異議なし

⑧報告（24件）

会議名	番号	件名	議決(報告) 年 月 日	議決内容	付託 委員会
第1回 定例会	1	区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分の報告について	21. 2. 27	報告	なし
	2	仮称大田区大森西四丁目区営住宅（その1）新築工事請負契約の専決処分の報告について	21. 2. 27	報告	なし
	3	大田区立東調布中学校体育館改修その他工事請負契約の専決処分の報告について	21. 2. 27	報告	なし
	4	大田区大田スタジアムグラウンド人工芝張替えその他工事請負契約の専決処分の報告について	21. 2. 27	報告	なし
第1回 臨時会	5	区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分の報告について	21. 5. 25	報告	なし
	6	大田区田園調布二丁目付近枝線その16工事（下水道）請負契約の専決処分の報告について	21. 5. 25	報告	なし
	7	大田区田園調布二丁目付近枝線その15工事（下水道）請負契約の専決処分の報告について	21. 5. 25	報告	なし
	8	大田区体育館及び大田区第三庁舎取りこわしその他工事請負契約の専決処分の報告について	21. 5. 25	報告	なし
	9	大田区立特別養護老人ホーム池上外壁改修その他工事請負契約の専決処分の報告について	21. 5. 25	報告	なし
第2回 定例会	10	平成20年度大田区繰越明許費繰越計算書	21. 6. 8	報告	なし
	11	大田区土地開発公社の経営状況に関する書類の提出について	21. 6. 8	報告	なし
	12	財団法人大田区文化振興協会の経営状況に関する書類の提出について	21. 6. 8	報告	なし
	13	財団法人大田区産業振興協会の経営状況に関する書類の提出について	21. 6. 8	報告	なし
	14	蒲田開発事業株式会社の経営状況に関する書類の提出について	21. 6. 8	報告	なし
	15	財団法人大田区体育協会の経営状況に関する書類の提出について	21. 6. 8	報告	なし

会議名	番号	件名	議決(報告) 年月日	議決内容	付託 委員会
第2回 定例会	16	区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分の報告について	21. 6. 8	報告	なし
	17	大田区立羽田中学校校舎改築工事請負契約の専決処分の報告について	21. 6. 8	報告	なし
第3回 定例会	18	区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分の承認について	21. 9. 30	承認	都市・環境
	19	土地の収用に係る和解の専決処分の承認について	21. 9. 30	承認	交通問題 調査特別
	20	平成20年度健全化判断比率の状況について	21. 9. 17	報告	なし
	21	区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分の報告について	21. 9. 17	報告	なし
	22	大田区立羽田中学校校舎改築工事請負契約の専決処分の報告について	21. 9. 17	報告	なし
第4回 定例会	23	区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分の報告について	21. 11. 27	報告	なし
	24	仮称大田区大森西四丁目区営住宅（その1）新築工事請負契約の専決処分の報告について	21. 11. 27	報告	なし

(6) 定例会の質問事項（通告）

平成21年第1回定例会

質 問 者	質 問 事 項
富田 俊一 (公 明)	1 大田区10か年基本計画について 2 組織改正について 3 21年度予算について 4 当面する課題について
河津 章夫 (大田自民)	1 経済危機と大田区政について 2 総合サポートセンターについて 3 野辺山学園について 4 伊豆高原学園と伊豆高原荘について 5 羽田空港の跡地問題について 6 世界同時不況の中において 7 定額給付金について 8 特別養護老人ホームについて 9 羽田空港跡地利用O T A基本プランについて
高瀬 三徳 (自 民)	1 政治倫理について 2 産業・経済について 3 子育てについて
金子 悦子 (共 産)	1 2009（平成21）年度予算について 2 在宅でも施設でも安心できる介護保険に 3 生活保護を法にもとづく運用に 4 子どもと教育、貧困について
山崎 勝広 (民 主)	1 緊急経済対策について 2 保健衛生・福祉施策について 3 定額給付金について 4 その他区政の課題について
近藤 忠夫 (自民大田)	1 産業振興について 2 環境問題について
飯田 茂 (公 明)	1 景気対策について 2 自転車対策について 3 小中一貫教育について 4 調布地区体育館構想について 5 ふるさと納税への取り組みと基金の再編について
荒木 秀樹 (無 所 属)	1 新年会について 2 防災・危機管理について 3 商業と地域力について
犬伏 秀一 (改 革)	1 これでいいのか大田区政！ 2 迷走する大田区の教育について
森 愛 (民 主)	1 環境について
黒沼 良光 (共 産)	1 羽田空港跡地購入は確認書にもとづき都が購入すべき 2 大田区の地域医療の充実について

質 問 者	質 問 事 項
奈須 利江 (ネ ッ ト)	1 入所希望者も知らない実態を反映していない「大田区特別養護老人ホーム」優先入所基準について 2 法的根拠や基準が明らかでない大田区政執行の課題について～「障がい者サービス」などの事例から～ 3 分権時代の政策執行における市民自治実現に果たす自治体総合計画（基本計画）の役割について
湯本良太郎 (自 民)	1 組織改正について 2 N P O 支援について 3 大田区体育館について 4 L E D 導入について 5 中学校の部活動について
押見 隆太 (大田自民)	1 定額給付金受領時に寄附をしていただく仕組みについて 2 新築、改築工事における太陽光パネルや緑化等の採用について 3 大田区役所のホームページへのバナー広告の掲載について
海老澤信吉 (大田自民)	1 資源のリサイクルについて
野呂 恵子 (緑)	1 区長の区政運営について 2 福祉・子育て支援について 3 施設整備に関する基本方針について 4 教育について
佐藤 伸 (共 産)	1 区内産業・地域経済を守るための中小業者・中小企業への支援について
木村 勝 (民 主)	1 定額給付金について 2 定額給付金と連動した大田区の取組みについて

平成21年第2回定例会

質 問 者	質 問 事 項
清波 貞子 (公 明)	1 中小企業支援と定額給付金について 2 女性の健康づくりとがん検診について 3 保育園の待機者のための施設整備について 4 大田区の公園の実態調査とあり方について
大森 昭彦 (大田自民)	1 基本構想について 2 まちづくりの将来について 3 緊急経済対策について 4 区民サービスの向上にむけて
水井 達興 (自 民)	1 組織改正と人事について 2 財政現況と見透しについて 3 福祉・教育・産業経済のこれからの施策について 4 蒲田・大森・羽田の開発について 5 新空港線について

質 問 者	質 問 事 項
大竹 辰治 (共 産)	1 核兵器廃絶へ大田区からも発信を 2 区民のくらしと雇用、営業を守る区政へ 3 新型インフルエンザ対策を 4 学校施設や区民施設整備優先の公共施設整備計画に
都野 圭子 (民 主)	1 定額給付金について 2 高齢者対策について 3 子育て支援について 4 地域力について
岡元 由美 (公 明)	1 H i b ワクチンについて 2 高齢者ほっとテレフォンについて 3 保育について
松本 洋之 (公 明)	1 自主課税権について 2 観光政策について
菅谷 郁恵 (共 産)	1 安心して生み育てられる子育て施策の充実について
海老澤信吉 (大田自民)	1 防災・危機管理について
松原 秀典 (大田自民)	1 多文化共生について 2 急増する生活保護世帯等への対応について 3 障がい者の就労支援について 4 修学旅行の中止及び延期について
黒川 仁 (民 主)	1 地域力応援基金助成事業について 2 臨時生活給付金について
和田 正子 (共 産)	1 十年目を迎えた介護保険は、安心して利用できる制度へ見直しを 2 区民への安心は職員削減ではなく人材育成こそ
森 愛 (民 主)	1 環境について 2 新型インフルエンザについて 3 次世代若者施策について
伊藤 和弘 (自 民)	1 多摩川緑地の駐車場について 2 観光客の誘致について
西村健志郎 (区民の会)	1 大田区長殿の「経営的視点」とは 2 予算要求における各所管の原価管理と経費削減の成果 3 入札制度改革の進捗と成果
野呂 恵子 (緑)	1 消費者行政について 2 高齢者福祉について

平成21年第3回定例会

質 問 者	質 問 事 項
渡部登志雄 (公 明)	<ol style="list-style-type: none"> 1 衆議院議員選挙の結果について 2 平成20年度の決算について 3 プレミアム付き商品券について 4 介護保健施設等の整備について 5 待機児童対策について 6 羽田空港跡地利用計画について 7 まちづくり対策について
松原茂登樹 (大田自民)	<ol style="list-style-type: none"> 1 都議会議員選挙・衆議院議員選挙の結果について 2 羽田空港跡地利用計画について 3 羽田旭町の開発とまちづくりについて 4 高齢者福祉政策について 5 住民参加型市場公募債の総括について
塩野目正樹 (自 民)	<ol style="list-style-type: none"> 1 羽田空港とともに発展する大田区について ～ニューヨーク旅客機事故（ハドソン川の奇跡）に想う大田区の空 の安全・安心について～ 2 「風の道」について
和田 正子 (共 産)	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成20年度（2008年度）決算について 2 平成21年度（2009年度）一般会計補正予算（第2次）について 3 中小企業支援について 4 住民の願いに添ったコミュニティバスに
木村 勝 (民 主)	<ol style="list-style-type: none"> 1 今夏の衆議院議員総選挙と都議会議員選挙について 2 マニフェスト及びマニフェスト選挙について 3 主権者教育について 4 新型インフルエンザ対策について 5 CO2削減対策について
勝亦 聡 (公 明)	<ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者の肺炎球菌ワクチンの助成制度について 2 新型インフルエンザ対策について 3 本区における国民健康保険高額療養費給付について
溝口 誠 (公 明)	<ol style="list-style-type: none"> 1 大田区の災害防止対策について 2 災害時要援護者の避難支援対策への取り組みについて
押見 隆太 (大田自民)	<ol style="list-style-type: none"> 1 蒲田ー羽田空港間直通シャトルバスについて 2 嶺町小学校について 3 伊豆高原荘の廃止・大田区指定保養所について
鈴木 康文 (大田自民)	<ol style="list-style-type: none"> 1 危機管理について 2 観光について 3 区民が主役の区政について
岸田 正 (民 主)	<ol style="list-style-type: none"> 1 区行政運営の基本的スタンスについて
金子 悦子 (共 産)	<ol style="list-style-type: none"> 1 大田区の地球温暖化対策について 2 生活保護行政について
犬伏 秀一 (改 革)	<ol style="list-style-type: none"> 1 相変わらず心配な大田区政につきうかがう

質 問 者	質 問 事 項
藤原 幸雄 (共 産)	1 障害者（児）支援拡充について 2 J R・京浜急行駅のバリアフリーについて
湯本良太郎 (自 民)	1 財政について 2 インフルエンザ対策及び危機管理について 3 待機児解消の対策について

平成21年第4回定例会

質 問 者	質 問 事 項
松本 洋之 (公 明)	1 新政権による区民生活の影響について 2 環境政策について 3 羽田空港国際化への本区の対応について 4 認知症介護について 5 情報のユニバーサルデザインについて 6 教育政策について
湯本良太郎 (政 友 会)	1 財政について 2 羽田空港について 3 中央防波堤について 4 倫理条例について 5 インフルエンザについて
藤原 幸雄 (共 産)	1 後期高齢者医療制度をすみやかに廃止を 2 補正予算に中小・町工場緊急対策を 3 新年度予算編成について ・区民の痛みやわらげる予算に ・羽田空港国際化と区内開発 4 新空港線（蒲蒲線）の白紙撤回を
岸田 哲治 (大田自民)	1 平成22年度予算について 2 中国訪問について 3 羽田空港について 4 保育園について 5 教育について
黒川 仁 (民 主)	1 鳩山首相の所信表明演説について 2 事業仕分けについて 3 補正予算について 4 インフルエンザ対策について 5 羽田空港国際化と産業振興について
河津 章夫 (大田自民)	1 地区計画について 2 羽田空港・蒲田東口シャトルバス運行について 3 待機児童解消・ゼロ対策について 4 返済猶予「モラトリアム」について
荒川 善夫 (公 明)	1 図書行政と読書教育について

質 問 者	質 問 事 項
高橋 博 (公 明)	1 WINWINで大田区を中国に高く売る、実利を得ることについて 2 平成22年度の予算編成について 3 家族介護者支援事業について
森 愛 (民 主)	1 まちづくりについて 2 地域力について
佐藤 伸 (共 産)	1 国際都市大田区の平和の取り組みについて 2 越年対策について
鈴木 康文 (政 友 会)	1 大田区の子どもたちについて
鈴木 隆之 (政 友 会)	1 区内施設の拡充について 2 区民への支援体制について
奈須 利江 (ネ ッ ト)	1 緑・まちなみ・空間など、良質な住環や活気ある商・工業の確保で できる良質な大田のまちづくりを推進するための「都市計画」策定に 必要なこと
菅谷 郁恵 (共 産)	1 待機児童対策は区立保育園・認可保育園の増設で「質」の確保を
野呂 恵子 (緑)	1 福祉について 2 産業政策について 3 清掃について 4 教育について
西村健志郎 (区民の会)	1 大田区のグランドデザイン 2 大田区が事業仕分けすると

* 第1回定例会 会派名

(公 明) : 大田区議会公明党
(大田自民) : 大田区議会自民党
(自 民) : 自由民主党大田区議団
(共 産) : 日本共産党大田区議団
(民 主) : 大田区議会民主党
(緑) : 大田区議会緑の党

(社 民) : 社会民主党・大田区民の会
(自民大田) : 自由民主党大田区議会
(無 所 属) : 無所属の会
(改 革) : 改革110番
(ネ ッ ト) : 大田生活者ネットワーク

* 第2回定例会～第3回定例会 会派名

(公 明) : 大田区議会公明党
(大田自民) : 大田区議会自民党
(自 民) : 自由民主党大田区議団
(共 産) : 日本共産党大田区議団
(民 主) : 大田区議会民主党
(緑) : 大田区議会緑の党

(区民の会) : 区議会大田区民の会
(自民大田) : 自由民主党大田区議会
(無 所 属) : 無所属の会
(改 革) : 改革110番
(ネ ッ ト) : 大田生活者ネットワーク

* 第4回定例会 会派名

(公 明) : 大田区議会公明党
(政 友 会) : 自由民主党政友会
(共 産) : 日本共産党大田区議団
(大田自民) : 大田区議会自民党
(民 主) : 大田区議会民主党
(緑) : 大田区議会緑の党

(区民の会) : 区議会大田区民の会
(自民大田) : 自由民主党大田区議会
(無 所 属) : 無所属の会
(改 革) : 改革110番
(ネ ッ ト) : 大田生活者ネットワーク

(7) 予算・決算特別委員会の質疑事項（総括質疑 通告）

平成21年予算特別委員会・総括質疑

質 問 者	質 疑 事 項
古山 昌子 (公 明)	1 予算について 2 不況にうちかつ産業政策について 3 大田ドリーム債の発行について 4 地域力について 5 ヘルメットの助成について 6 オリンピックムーブメント共同事業について
岸田 哲治 (大田自民)	1 21年度予算の歳入について 2 震災対策について 3 区内産業について 4 水質浄化対策について 5 学校施設の整備について 6 基礎学力の定着について
伊藤 和弘 (自 民)	1 ユニバーサルデザインのまちづくりについて 2 航空機利用者に対する大田区の独自課税について 3 公共施設整備計画について 4 野辺山学園の施設について 5 多摩川河川敷の駐車場について 6 まちのランドデザインについて 7 予算案の公表の仕方について
大竹 辰治 (共 産)	1 2009年度予算案について 2 公共施設整備計画について 3 指定管理者制度、民間委託について 4 介護保険について
都野 圭子 (民 主)	1 職員定数について 2 指定管理制度について 3 教育について 4 大森日赤病院について

平成21年予算特別委員会・しめくくり総括質疑

質 問 者	質 疑 事 項
山崎 勝広 (民 主)	1 病児・病後時保育について
大竹 辰治 (共 産)	1 海外視察とセーラム市訪問について 2 介護保険について
伊藤 和弘 (自 民)	1 新行政経営プラン
安藤 充 (大田自民)	1 羽田空港の跡地について 2 羽田空港の国際化について 3 羽田空港の臨海部について

質 問 者	質 疑 事 項
高橋 博 (公 明)	1 補正予算の編成について 2 職員の士気について 3 新空港線 糎谷駅について 4 モノづくり課、あきない課について 5 シンクタンク大田総研について

平成21年決算特別委員会・総括質疑

質 問 者	質 疑 事 項
荒川 善夫 (公 明)	1 平成20年度決算について 2 財政基金の活用について 3 外郭団体について 4 未利用地について 5 羽田空港関連と臨海部について
海老澤信吉 (大田自民)	1 財政基金について 2 区政について
高瀬 三徳 (自 民)	1 区政のあり方について 2 まちづくりについて 3 子供について 4 産業について 5 保健福祉について
清水 菊美 (共 産)	1 平成20年度（2008年度）決算について 2 中小企業支援について 3 保育園待機児対策について 4 アスベストフォロー検診について
山崎 勝広 (民 主)	1 産業支援策について 2 大田行政経営プランについて 3 待機児対策について 4 障害者支援策について 5 教育課題について

平成21年決算特別委員会・しめくり総括質疑

質 問 者	質 疑 事 項
都野 圭子 (民 主)	1 国際化について
清水 菊美 (共 産)	1 保育園待機児対策 2 新型インフルエンザ対策 3 中小企業対策、ものづくり集積の維持のため
湯本良太郎 (自 民)	1 財政について 2 羽田空港について 3 危機管理について 4 その他

質 問 者	質 疑 事 項
大森 昭彦 (大田自民)	1 決算審査結果内容と区政運営について 2 新政権下で受ける本区の影響について
溝口 誠 (公 明)	1 緊急生活安定対策について 2 文化振興協会等の財団法人を寄付金控除対象団体に

* 予算特別委員会 会派名

(公 明) : 大田区議会公明党	(社 民) : 社会民主党・大田区民の会
(大田自民) : 大田区議会自民党	(自民大田) : 自由民主党大田区議会
(自 民) : 自由民主党大田区議団	(無 所 属) : 無所属の会
(共 産) : 日本共産党大田区議団	(改 革) : 改革110番
(民 主) : 大田区議会民主党	(ネ ッ ト) : 大田生活者ネットワーク
(緑) : 大田区議会緑の党	

* 決算特別委員会 会派名

(公 明) : 大田区議会公明党	(区民の会) : 区議会大田区民の会
(大田自民) : 大田区議会自民党	(自民大田) : 自由民主党大田区議会
(自 民) : 自由民主党大田区議団	(無 所 属) : 無所属の会
(共 産) : 日本共産党大田区議団	(改 革) : 改革110番
(民 主) : 大田区議会民主党	(ネ ッ ト) : 大田生活者ネットワーク
(緑) : 大田区議会緑の党	

(8) 委員会別請願・陳情審査件数と処理内訳

内訳		委員会		総務 財政	地 域 ・ 産 業	保 健 福 祉	都 市 ・ 環 境	こ ど も 文 教	議 会 運 営	開 発 ・ 観 光 対 策	交 通 問 題 調 査	羽 田 空 港 対 策	防 災 ・ 安 全	計
		請願	陳情											
前年からの継続	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	陳情	5	2	21	20	23	0	0	4	3	0	0	78	
平成21年付託分	請願	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	5	
	陳情	8	5	10	4	14	6	1	1	2	1	52		
総計		13	8	33	24	39	6	1	5	5	1	135		
採 択	前年からの継続	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		陳情	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3	
	平成21年付託分	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		陳情	0	0	5	0	2	1	0	0	0	0	8	
	計		0	0	6	0	4	1	0	0	0	0	11	
不 採 択	前年からの継続	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		陳情	2	0	5	0	11	0	0	0	0	0	18	
	平成21年付託分	請願	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	3	
		陳情	7	4	4	1	7	4	1	1	0	1	30	
	計		9	5	9	1	20	4	1	1	0	1	51	
取 下	前年からの継続	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		陳情	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3	
	平成21年付託分	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		陳情	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	3	
	計		0	0	2	1	1	1	0	0	1	0	6	
継 続	前年からの継続	請願	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		陳情	3	2	13	19	10	0	0	4	3	0	54	
	平成21年付託分	請願	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
		陳情	1	1	1	3	4	0	0	0	1	0	11	
	計		4	3	16	22	14	0	0	4	4	0	67	

※地域・産業委員会は、21年3月31日までは生活産業委員会
 保健福祉委員会は、21年3月31日までは健康福祉委員会
 都市・環境委員会は、21年3月31日までは都市整備委員会

(9) 委員会別請願・陳情 (請願5件、陳情130件)

①総務財政委員会

13件 (不採択9件、継続4件)

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
19- 66	19. 9. 26	大田区役所本庁舎内に所用あって来た客は玄関入口の外でタバコをのむ。区役所の者は庁舎内に分煙所を見えない様に作り勤務中でも持場をはなれて吸う。区民をなめたやり方はやめよとの陳情	21. 5. 25	不採択
19- 72	19. 9. 26	大田区議会議員の費用弁償に関する陳情	21. 12. 7	継続
20- 18	20. 3. 7	地上デジタル放送に関する陳情	21. 10. 14	不採択
20- 19	20. 3. 7	区議会議員の報酬の値上げに反対する陳情	21. 12. 7	継続
20-100	20. 11. 28	大森南地域に文化センター、ゆうゆうクラブなどの、健康づくりや、憩いの場になる施設の建設を求める陳情	21. 12. 7	継続
21- 9	21. 2. 27	行政が「説明責任」を果たすよう要請する陳情	21. 3. 9	不採択
21- 10	21. 2. 27	区職員の再任用制度の優遇化理由を明確に説明するよう依頼する陳情	21. 3. 9	不採択
21- 14	21. 3. 9	大田区中央2丁目マンション計画変更に関する陳情	21. 12. 7	継続
21- 21	21. 6. 8	「五輪誘致活動の件」に関する陳情	21. 6. 16	不採択
21- 32	21. 6. 8	大田区南馬込6丁目マンション計画変更に関する陳情	21. 6. 16	不採択
21- 33	21. 6. 8	大田区南馬込6丁目マンション計画変更に関する陳情	21. 6. 16	不採択
21- 37	21. 9. 17	海上保安庁の増員を求める意見書提出を求める陳情	21. 10. 14	不採択
21- 58	21. 11. 27	大田区を羽田区へする陳情	21. 12. 7	不採択

②地域・産業委員会（21年3月31日までは生活産業委員会）

8件（不採択5件、継続3件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
20- 73	20. 9. 19	消費者行政の体制・人員・予算の抜本的拡充を求める件に関する陳情	21. 12. 7	継続
20- 74	20. 9. 19	「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」を提出することを求める件に関する陳情	21. 12. 7	継続
21- 7	21. 2. 27	定額給付金の交付事務に、区が確認済みの振込指定口座等を活用し経費を抑制するよう依頼する陳情	21. 3. 9	不採択
21- 30	21. 6. 8	伊豆高原荘に関する陳情	21. 6. 16	不採択
21- 31	21. 6. 8	伊豆高原荘に関する陳情	21. 6. 16	不採択
21- 34	21. 6. 8	大田区伊豆高原荘の存続を求める陳情	21. 6. 16	不採択
21- 42	21. 9. 17	所得税法第56条廃止の意見書を求める請願	21. 9. 30	不採択
21- 65	21. 11. 27	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出することを求める件に関する陳情	21. 12. 7	継続

③保健福祉委員会（21年3月31日までは健康福祉委員会）

33件（採択6件、不採択9件、取下2件、継続16件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
19- 18	19. 6. 8	肺炎球菌予防接種の助成に関する陳情	21. 6. 16	採択
19- 29	19. 6. 8	「障害者（児）の余暇活動に対する支援」および「心身障害者（児）通所訓練事業の実施」に関する陳情	21. 6. 16	取下
19- 37	19. 6. 8	障害者自立支援法「応益負担」に関する陳情	21. 12. 7	継続
19- 46	19. 9. 14	介護施設に関する陳情	21. 12. 7	継続
19- 68	19. 9. 26	緊急一時保護（区制度）に関する陳情	21. 12. 7	継続
19- 69	19. 9. 26	通所施設に関する陳情	21. 12. 7	継続
19- 73	19. 9. 26	緊急一時訪問看護師派遣及び在宅訪問看護師派遣の制度新設に関する陳情	21. 12. 7	継続
19- 93	19. 11. 29	「医療依存度の高い障害者（児）の在宅生活を支える医療制度」を国に求める意見書提出の陳情	21. 12. 7	継続
20- 8	20. 2. 28	大田区のアスベスト検診、アスベスト対策充実に関する陳情	21. 3. 9	取下
20- 13	20. 3. 7	障害者用自転車及び補助モーター付き障害者用自転車に関する陳情	21. 5. 25	不採択
20- 20	20. 3. 7	介護保険「生活援助」の必要な給付を求める陳情	21. 12. 7	継続
20- 36	20. 6. 6	大田区心身障害者福祉手当の精神障害者への支給を求める陳情	21. 12. 7	継続
20- 37	20. 6. 6	障害者自立支援法における応益負担の撤廃等を求める陳情	21. 5. 25	不採択
20- 39	20. 6. 6	障害者自立支援法における地域活動支援センターの補助金確保を求める陳情	21. 12. 7	継続
20- 41	20. 6. 6	障害者自立支援法における利用者特別加算金等の継続を求める陳情	21. 12. 7	継続
20- 54	20. 9. 19	医療依存度の高い重度障害者（児）の在宅生活を支える看護師と理学療法士派遣の陳情	21. 12. 7	継続
20- 78	20. 9. 30	中途失聴・難聴者の情報保障についての陳情	21. 12. 7	継続
20- 92	20. 9. 30	妊婦検診への助成にかかる陳情	21. 5. 25	不採択
20- 94	20. 9. 30	テレビ受信が可能になるよう要請する陳情	21. 5. 25	不採択

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
20- 96	20. 11. 28	妊婦健康診査助成に関する陳情	21. 5. 25	不採択
20- 97	20. 11. 28	社会保険蒲田総合病院の公的医療機関としての存続を求める陳情	21. 12. 7	継続
21- 4	21. 2. 27	「後期高齢者医療制度の『廃止』を求める意見書」に関する陳情	21. 3. 9	不採択
21- 17	21. 3. 9	大田区のアスベスト対策充実に関する陳情	21. 12. 7	不採択
21- 19	21. 3. 9	介護保険料に関する陳情	21. 3. 25	不採択
21- 28	21. 6. 8	肺炎球菌ワクチン予防接種の助成に関する陳情	21. 6. 16	採択
21- 38	21. 9. 17	支援費の移動介護時間の繰越に関する陳情	21. 9. 30	採択
21- 45	21. 9. 17	ヒブワクチンの公費助成による定期接種化を求める陳情	21. 12. 7	継続
21- 49	21. 9. 30	馬込墓苑の建設に関する陳情	21. 12. 7	採択
21- 51	21. 9. 30	生活保護の「母子加算」復活を要求する国への意見書を求める請願	21. 12. 7	継続
21- 52	21. 9. 30	生活保護の「高齢加算」復活を要求する国への意見書を求める請願	21. 12. 7	継続
21- 55	21. 11. 27	「盲ろう者友の会」の立ち上げに関する陳情	21. 12. 7	採択
21- 59	21. 11. 27	食料の自給率向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める陳情	21. 12. 7	採択
21- 60	21. 11. 27	大田区のアスベストフォローアップ検診の改善に関する陳情	21. 12. 7	不採択

④都市・環境委員会（21年3月31日までは都市整備委員会）

24件（不採択1件、取下1件、継続22件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
19- 24	19. 6. 8	田園調布4～5丁目地域に児童公園の新設を求める陳情	21.12. 7	継続
19- 27	19. 6. 8	補助44号道路計画の見直しに関する陳情	21.12. 7	継続
19- 35	19. 6. 8	たばこ喫煙所の新設を求める陳情	21.12. 7	継続
19- 42	19. 6. 8	雑色駅周辺に駐輪場設置を求める陳情	21.12. 7	継続
19- 47	19. 9.14	区営住宅入居希望に関する陳情	21.12. 7	継続
19- 64	19. 9.26	ふるさとの浜公園へ水族館かこん虫館等を作ることを強く要望する陳情	21.12. 7	継続
19- 71	19. 9.26	「住宅地に大型店舗を出店することに対する指導」に関する陳情	21.12. 7	継続
19- 78	19.11.29	多摩川大師橋緑地にトイレ増設を求める陳情	21.12. 7	継続
19- 81	19.11.29	道路交通規制に関する陳情	21.12. 7	継続
19- 98	20. 2.28	都営地下鉄馬込修理工場跡地に商業施設を誘致する構想に反対の陳情	21.12. 7	継続
20- 3	20. 2.28	ラグビーグラウンド建設に関する陳情	21.12. 7	継続
20- 12	20. 3. 7	ガス橋駐車場整備工事に関する陳情	21.12. 7	継続
20- 17	20. 3. 7	高層マンションの風害に関する陳情	21.12. 7	継続
20- 22	20. 6. 6	大田区立洗足池公園子ども広場に関する陳情	21.12. 7	継続
20- 35	20. 6. 6	自動二輪車駐車スペースに関する陳情	21.12. 7	継続
20- 44	20. 6. 6	鬼たび通り（東邦医大通り）大森西4丁目バス停に雨よけ（日よけ）用の屋根の設置についての陳情	21. 9.30	取下
20- 47	20. 6. 6	主要施設付近への自動二輪車一時駐車場の設置の陳情	21.12. 7	継続
20- 49	20. 6. 6	平和島駅構内にトイレとエレベーターの一日も早い設置を求める陳情	21.12. 7	継続
20- 50	20. 6. 6	南馬込2丁目の自然林を残す事に関する陳情	21.12. 7	継続
20- 79	20. 9.30	東邦医大通りの「東邦医大前」バス停に雨よけ（日よけ）用の屋根の設置についての陳情	21.12. 7	継続

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
21- 8	21. 2. 27	第二京浜国道馬込坂下の歩道橋のある交差点に、横断歩道を設置するよう要請する陳情	21.12. 7	継続
21- 47	21. 9. 30	多摩川河川敷（田園調布4丁目先・多摩川グランド付近）の除草工事に関する陳情	21.12. 7	継続
21- 48	21. 9. 30	鬼たび通り（東邦医大通り）大森西4丁目バス停に雨よけ（日よけ）用の屋根の設置促進についての陳情	21.12. 7	継続
21- 50	21. 9. 30	ゴミ処理器に関する陳情	21.10.14	不採択

⑤こども文教委員会

39件（採択4件、不採択20件、取下1件、継続14件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
19- 16	19. 6. 8	学童保育の時間延長に関する陳情	21.12. 7	継続
19- 23	19. 6. 8	田園調布4～5丁目地域に児童館の建設を求める陳情	21.12. 7	継続
19- 49	19. 9.14	視覚障害者向け音訳資料、情報作製機器予算に関する陳情	21.12. 7	継続
19- 95	19.11.29	学校図書館のより有効な活用のため、人の配置などの仕組みを作っていただくための陳情	21.12. 7	継続
19- 96	19.11.29	大田図書館を区立中央館として機能させるための陳情	21.12. 7	継続
20- 1	20. 2.28	鶉の木保育園を南久が原の現在地に存続を求める陳情	21.12. 7	継続
20- 2	20. 2.28	鶉の木保育園を南久が原の現在地に存続を求める陳情	21.12. 7	継続
20- 14	20. 3. 7	保育園を南久が原に残すことを求める陳情	21.12. 7	継続
20- 64	20. 9.19	「いじめ防止条例」制定に関する陳情	21.12. 7	継続
20- 76	20. 9.19	区立小・中学校の給食費を値上げしないよう求める陳情	21.12. 7	継続
20- 77	20. 9.30	現行保育制度の堅持・拡充と、保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める陳情	21.12. 7	不採択
20- 86	20. 9.30	福祉施設・保育所の最低基準を維持し、保育所の直接契約方式を導入しないよう、国に対し意見書提出を求める陳情	21.12. 7	不採択
20- 87	20. 9.30	福祉施設・保育所の最低基準を維持し、保育所の直接契約方式を導入しないよう、国に対し意見書提出を求める陳情	21.12. 7	不採択
20- 88	20. 9.30	福祉施設・保育所の最低基準を維持し、保育所の直接契約方式を導入しないよう、国に対し意見書提出を求める陳情	21.12. 7	不採択
20- 89	20. 9.30	福祉施設、保育所の最低基準を維持し、保育所の直接契約方式を導入しないよう、国に対し意見書採択を求める陳情	21.12. 7	不採択
20- 91	20. 9.30	福祉施設、保育所の最低基準を維持し、保育所の直接契約方式を導入しないよう、国に対し意見書採択を求める陳情	21.12. 7	不採択

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
20-101	20. 11. 28	保育室・認証保育所の補助金対象年齢の変更に関する陳情	21. 3. 25	採択
20-102	20. 11. 28	指定保育室、認証保育所の年度途中入所児について、認可保育園と同様に、年齢計算によって生じる東京都の補助金の差額を補てんするための補助金をつけていただきたい陳情	21. 3. 25	採択
20-103	20. 11. 28	「民間社会福祉施設サービス推進費補助事業」再構築を中止し保育士が経験をつみながら長く勤められるよう定期昇給を保障できるような人件費の補助をしていただくよう東京都に対して意見書提出を求める陳情	21. 12. 7	不採択
20-104	20. 11. 28	「民間社会福祉施設サービス推進費補助事業」の再構築を中止するよう東京都に対して意見書提出を求める陳情	21. 12. 7	不採択
20-105	20. 11. 28	「民間社会福祉施設サービス推進費補助事業」再構築を中止し、経験が反映される制度になるように、東京都に意見書提出を求める陳情	21. 12. 7	不採択
20-106	20. 11. 28	「民間社会福祉施設サービス推進費補助事業」再構築を中止するよう東京都に対して意見書提出を求める陳情	21. 12. 7	不採択
20-111	20. 11. 28	「民間社会福祉施設サービス推進費補助事業」再構築を中止し、保育士が経験を積みながら長く勤められるよう定期昇給を保障できるような人件費の補助をしていただくよう東京都に対して意見書提出を求める陳情	21. 12. 7	不採択
21- 5	21. 2. 27	私立幼稚園に対して、格段の予算増等ご配慮を願う陳情	21. 12. 7	継続
21- 6	21. 2. 27	すべての子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための請願	21. 3. 9	不採択
21- 13	21. 3. 9	すべての保育園に看護師を配置していただきたい陳情	21. 11. 26	取下
21- 15	21. 3. 9	平成21年度 教育委員会指導室重点施策に関する陳情	21. 3. 25	不採択

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
21- 16	21. 3. 9	「民間社会福祉施設サービス推進費補助事業」の見直しをやめるように、東京都に対して意見書の提出をしてほしい旨の陳情	21.12. 7	不採択
21- 20	21. 3. 9	保育室・認証保育所の補助金対象年齢の変更に関する陳情	21. 3.25	採択
21- 40	21. 9.17	認証保育所の保育料等の助成に関する陳情	21.12. 7	継続
21- 43	21. 9.17	現行保育制度に基づく保育施策の拡充に関する意見書提出を求める陳情	21.12. 7	不採択
21- 44	21. 9.17	平成22年度大田区私立幼稚園関係予算の要望について	21.10.14	採択
21- 46	21. 9.17	「3人乗り自転車」のレンタル化を求める陳情	21.12. 7	継続
21- 61	21.11.27	すべての子どもがすこやかにそだつ大田区をめざす請願	21.12. 7	不採択
21- 62	21.11.27	大田区内のすべての認可保育園に看護師を配置していただきたい陳情	21.12. 7	継続
21- 63	21.11.27	「待機児童問題」「新保育制度の導入」「最低基準の縮小・廃止、地方条例化」に対する陳情	21.12. 7	不採択
21- 64	21.11.27	民間の社会福祉施設が健全に運営されるよう東京都に対して「民間社会福祉施設サービス推進費補助事業」再構築を中止するよう意見書提出を求める陳情	21.12. 7	不採択
21- 66	21.11.27	中央五丁目30番地土地利用に関しきちんとした説明を要請する陳情	21.12. 7	不採択
21- 67	21.11.27	入新井保育園の増改築計画を一旦中止するよう依頼する陳情	21.12. 7	不採択

⑥議会運営委員会

6件（採択1件、不採択4件、取下1件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
21- 1	21. 2. 27	「政務調査費に関する陳情」	21. 3. 9	取下
21- 2	21. 2. 27	「海外視察に関する陳情」	21. 3. 9	不採択
21- 26	21. 6. 8	大田区議会公明党の政務調査費の使途に関する陳情	21. 6. 16	不採択
21- 29	21. 6. 8	会議に伴う食糧費に政務調査費をあてることを禁止するよう求める陳情	21. 6. 16	不採択
21- 35	21. 9. 17	一昨年の区議会議員選挙後、議会役職の選出方法を自公民系会派が数の力で覆し、各委員会の委員長・副委員長を自公民系会派で独占し、特定の会派を委員会役職から排除する、区議会議員選挙で示された有権者の意思を無視する強権的且つ専横的な議会役職選出を止め、改めて公正公平な議会役職の選出をするよう求める陳情	21. 9. 30	不採択
21- 41	21. 9. 17	本会議議場において国旗掲揚を求める陳情	21. 9. 30	採択

⑦開発・観光対策特別委員会

1件（不採択1件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
21- 18	21. 3. 9	「大森北一丁目開発」ビル内に集会室の設置を求める陳情	21. 3. 25	不採択

⑧交通問題調査特別委員会

5件（不採択1件、継続4件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
19- 26	19. 6. 8	下丸子・矢口・多摩川地域にコミュニティバス路線の新設を求める陳情	21.12. 7	継続
19- 36	19. 6. 8	西蒲田・池上地域の交通空白地域にコミュニティバス（ミニバス）の運行を求める陳情	21.12. 7	継続
19- 51	19. 9.14	矢口、下丸子地域にコミュニティバスの新設運行を求める陳情	21.12. 7	継続
19- 70	19. 9.26	中央地域にコミュニティバスの運行を求める陳情	21.12. 7	継続
21- 11	21. 3. 9	糀谷駅前再開発に反対する陳情	21. 3.25	不採択

⑨羽田空港対策特別委員会

5件（取下1件、継続4件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
19- 21	19. 6. 8	大田区羽田空港跡地53haの開発に関する陳情	21.12. 7	継続
19- 99	20. 2.28	「羽田航空宇宙科学館（仮称）」の設立に関する陳情	21.12. 7	継続
20- 34	20. 6. 6	羽田空港跡地に「平和館」の設立を要請することに関する陳情	21.12. 7	継続
21- 12	21. 3. 9	米軍横田基地の空域削減による羽田空港出発経路の変更による、航空機騒音被害に関する陳情	21. 6. 5	取下
21- 27	21. 6. 8	米軍横田基地の空域削減による羽田空港出発経路の変更による、航空機騒音被害に関する陳情	21.12.7	継続

⑩防災・安全対策特別委員会

1件（不採択1件）

受理番号	付託年月日	件名	議決年月日	結果
21- 39	21. 9.17	区条例第13号大田区安全で安心なまちづくり条例に対しての陳情	21.12. 7	不採択

(10) 決議・意見書

新型インフルエンザ対策に関する意見書

新型インフルエンザ（豚インフルエンザ(A/H1N1)）が世界的に流行し、ついに国内においても感染が広がりつつある。また、強毒性とされる鳥インフルエンザ(H5N1)も、かねてよりアジアで発生し、その流行が懸念されている。

このたびの新型インフルエンザの水際防止対策として国は、まん延している国又は地域から直行便が到着する成田空港など4空港においては機内検疫を実施し、一定の成果を挙げている。

大田区にある羽田空港にあっては、まん延国からの直行便はないが、ソウル、上海及び香港から毎日14便が定期運行しており、約3000人が入国している。その中には、まん延国に滞在した後にソウル等を経由して羽田空港から入国する旅客も含まれており、そのような経路によって新型インフルエンザが持ち込まれる危険性は、直行便となんら変わるところはない。しかし、羽田空港における検疫は、まん延国からの渡航者であるか否かについては、その滞在の有無を旅行者が自主的に申告する方法で実施されている。

羽田空港に降り立った旅行者は、空港から区内の私鉄やバスなどを利用しており、まん延国からの感染者に区民が接する確率は、高いと考えざるを得ない。こうした状況は区民の安全と安心を確保する上で決して看過できないところである。

そこで国会及び政府におかれては、この度の対策及び今後想定されている鳥インフルエンザに関する対策として、次に掲げる措置を講じられるよう強く要望する。

- 1 海外発生期にあっては、羽田空港においても水際対策を充実強化し、特にまん延国からの渡航者を確実な方法によって特定できるよう検疫体制を強化すること並びに空港利用者及び近隣住民の安全を図るため、感染者の搬送体制の強化を図られたい。
- 2 空港、駅、バスターミナルなど、多数の利用者が日常的に集まる施設においてインフルエンザ感染を防止するために有効な手段を確立するとともに、同施設所在地の地方公共団体が住民の安心と安全を確保するために必要とする権限及びこれの実施に必要な財政支援措置を講じられたい。
- 3 まん延国からの渡航者に対して保健所が行っている健康観察業務では、対象者に連絡が取れない場合が多いなど、運用に多くの課題を含んでいる。より一層、実効性が上がる制度の確立と保健所における人的措置等について国の財政的支援策を講じられたい。
- 4 国際便を抱える空港所在地の地方公共団体に対して、抗インフルエンザ薬やPPE（サージカルマスク、ガウン、ゴーグル等の防護具）など感染拡大防止に必要な資材を優先的に配付されたい。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年5月25日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣

} あて

大田区議会議長

北朝鮮の核実験に厳重に抗議する決議

北朝鮮は、平成21年5月25日に核実験を実施したと発表した。同国は、平成18年10月にも1回目の核実験を行っており、国際社会はこれを強く非難し、大田区議会も厳重に抗議する決議を行ったところである。今回、再び北朝鮮が核実験を強行したことは、明らかに日朝平壤宣言及び六者会合共同声明を無視するものであり、また国際連合安全保障理事会決議第1718号に違反するものである。

日本は唯一の被爆国であり、大田区は核兵器のない平和都市であることを宣言している。平和を求める大田区議会は北朝鮮の核実験を、断じて容認できない。ここに厳重に抗議する。

よって、大田区議会は、北朝鮮が直ちに核実験を停止し、核開発計画の即刻放棄と核兵器不拡散条約（NPT）への早期復帰を強く求めるものである。

また、大田区議会は、政府に対し、北朝鮮が再び核実験を強行することのないよう、国際的な協議の場で解決していくこと及び核実験による環境面への影響を十分に調査し、その情報提供を適切に行うよう求める。

以上、決議する。

平成21年5月28日

大 田 区 議 会

地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書

新政権の発足とともに、民主党のマニフェストに示された政策・制度への変更が進められることとなります。

一方、前政権下において、わが国が直面している未曾有の経済危機を克服するために、平成21年度予算及び同年度第1次補正予算が可決成立しています。総額で14兆円を超えるこの予算には、地域活性化・公共投資臨時交付金、地域活性化・経済危機対策臨時交付金、経済対策関連の自治体に交付される15の基金などの創設等が計上されており、各地方自治体は、当該基金などの活用を前提に、経済危機対策に資する事業を計画し、補正予算の議決と事業の執行を目指して、準備を行っているところです。

新政権によって、前述の経済危機対策事業についての予算執行が見直されることになれば、すでに、関係事業を執行中あるいは、執行準備が完了し、当該事業の広報・周知が済んでいる地方自治体にとって、誠に憂慮すべき事態の発生が懸念されます。

万一、関係事業を中止せざるを得ない事態になれば、地方自治の混乱を招くだけでなく、地域雇用情勢にも深刻な打撃を与え、経済対策の効果によって、景気底入れから成長に転じる兆しの出てきた日本経済に悪影響を及ぼしかねない恐れがあります。

上記の状況を考慮し、政府におかれましては、政策の見直し、税制の改革、制度の変更にあたっては、平成21年度予算及び同年度第1次補正予算によって、地方自治体の進めてきた雇用や中小企業対策などの施策や事業について財源問題で執行に支障が生じることをないように行われることを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

平成21年9月30日

内閣総理大臣 }
総務大臣 } あて
財務大臣 }

大田区議会議長

食品表示に関する制度の改正を求める意見書

食品の表示は、消費者が食品の内容を正しく理解し、品質を判断し、選択するうえで、なくてはならない重要な情報源である。

現在、食品の生産から処理・加工、流通・販売等の各段階で食品とその情報を追跡し遡及できるトレーサビリティ制度は、牛肉トレーサビリティ法に基づき国産牛に適用される制度と、JAS法による牛肉・豚肉・豆腐・こんにゃく・農産物・養殖魚が対象の任意の生産情報公表JAS制度があるが、加工食品に対してはない。

さらに、加工食品における原料原産地表示の対象は、加工食品品質表示基準で義務付けられている20食品群・4品目に過ぎない。

また、遺伝子組み換え食品に関しては分別生産流通管理していれば、「不使用」の表示でも5%までの遺伝子組み換え作物の混入が認められている。さらにクローン技術によって生み出される家畜由来食品については任意表示となっている。

このような中、食品の多様化、消費者の品質、安全性や健康に対する関心の高まり等に対応するため、食品の表示制度を充実させる必要がある。コスト面や検査技術の面等から、全ての食品について義務表示とするのは困難を伴うが、インターネットや店頭ポップ表示等を活用するなど、今後可能なことから表示の義務化を促進するとともに、食の安全・安心のために、食料自給率向上も図るべきである。

よって、大田区議会は、政府に対し、食品表示に関する制度を改正し下記の表示をするよう、強く要望する。

記

- 1 加工食品原料のトレーサビリティと原料原産地の表示を義務化すること。
- 2 基本的にすべての遺伝子組み換え食品・飼料について、表示を義務化すること。
- 3 クローン家畜由来食品の表示を義務化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年12月7日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
厚生労働大臣
農林水産大臣
内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）

あて

大田区議会議長

(11) 国内視察

①常任委員会行政視察

委員会	視察先	調査事項	視察日
健康福祉	宮崎市	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎市における福祉施設（特別養護老人ホーム、介護施設、障害者施設）の現状と施設運営に関する今後の方向性について 宮崎市総合福祉センターについて 宮崎市保健所について 	2月 9日 ～10日
総務財政	宗像市	<ul style="list-style-type: none"> 市民サービス協働化提案制度について 	10月19日 ～21日
	那覇市	<ul style="list-style-type: none"> I S O 9001認証拡大事業について 	
	沖縄県土地開発公社	<ul style="list-style-type: none"> 豊崎タウン事業について 	
地域・産業	岡山リサーチパーク インキュベーションセンター	<ul style="list-style-type: none"> インキュベーションセンターの概要・施設について 	10月20日 ～22日
	財団法人岡山県産業振興財団	<ul style="list-style-type: none"> 「ウイングウィン岡山」について 	
	宇部市	<ul style="list-style-type: none"> 重点戦略「地域産業の創造・育成」について 「キューブサロン (C-UBE)」について 	
	財団法人西日本産業貿易コンベンション協会	<ul style="list-style-type: none"> 西日本総合展示場の概要・施設視察について 展示会「中小企業テクノフェア i n 九州 2009」視察 	
保健福祉	広島市	<ul style="list-style-type: none"> うつ病・自殺対策推進計画について 	10月20日 ～22日
	神戸市	<ul style="list-style-type: none"> あんしんすこやかルーム事業について I C Tを活用した見守りサービス事業について 	
	川西市	<ul style="list-style-type: none"> 住民がデザインする地域福祉について 	
都市・環境	宮古島市	<ul style="list-style-type: none"> 宮古島市環境モデル都市行動計画について 	10月19日 ～21日
	沖縄県土地開発公社	<ul style="list-style-type: none"> 豊崎タウン事業について 	
子ども文教	青森市	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援地域本部について 中学校における習熟度別学習の実施について 三内丸山遺跡について 	11月 9日 ～11日
	一関市	<ul style="list-style-type: none"> 「森は海の恋人」運動について ～森、川、海の生態系の結びつきを通じた環境保全教育～ 	
	郡山市	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい科学館（スペースパーク）について 	

②特別委員会行政視察

委員会	視察先	調査事項	視察日
開発・観光対策	岐阜市	・岐阜シティー・タワー43とJ R岐阜駅周辺整備事業について	10月15日 ～16日
	大垣市	・景観条例の制定と大垣市景観計画について	
交通問題調査	豊橋市	・豊橋駅ペDESTリアンデッキ視察について ・豊橋市東口駅南地区都市拠点事業について ・豊橋鉄道LRV「ほっとラム」について	10月15日 ～16日
	知立市	・名鉄名古屋本線連続立体事業について	
防災・安全対策	洲本市	・災害時の要援護者等支援対策について	10月15日 ～16日
	淡路市	・北淡震災記念公園 野島断層保存館視察	

(12) 海外視察

①大田区議会セーラム市親善訪問

派遣期間

平成21年10月30日（金）から11月6日（金）まで

派遣場所

アメリカ合衆国 マサチューセッツ州セーラム市（姉妹都市）

カリフォルニア州サンフランシスコ市

カナダ オンタリオ州トロント市

派遣議員

田中一吉、渡部登志雄、伊藤和弘、鈴木康文、鈴木隆之、押見隆太、岡元由美

②大田区議会北京市朝陽区親善訪問

派遣期間

平成21年10月25日（日）から10月31日（土）まで

派遣場所

中華人民共和国 北京市朝陽区（友好都市）、北京市

遼寧省大連市

上海市

派遣議員

永井敬臣、飯田茂、高瀬三徳、安藤充、松原秀典、近藤忠夫、高橋博、黒川仁

セーラム市親善訪問団報告書

はじめに

団長 田 中 一 吉

この度、大田区議会を代表し、本区の友好姉妹都市セーラム市親善訪問等を行ってまいりましたので、ご報告申し上げます。

大森貝塚を発見したエドワード・モース博士のご縁もあり、1984年、大田区郷土博物館とセーラム市ピーボディ博物館との提携・協力協定が締結され、博物館同士の交流が着実な成果を挙げていることから、1991年、大田区とセーラム市が姉妹都市となり、市（区）民同士の交流が着実に進展し、大きな成果を挙げていることを改めて実感することができました。

姉妹都市提携から18年余、すでに本区の中学生922名、区民訪問団441名の大田区民がセーラム市民の家にホームステイ等でお世話になっておりますし、セーラム市から市民や学生も数多く大田区にお越しいただいております。

私は、これほど実を伴った、地に足のついた実績を持つ自治体間交流は全国的にも多くないと考えています。セーラム市庁舎にも大田区との交流を示すコーナーがあり、その歴史の一端を感じることができます。両市（区）には、すでに交流を進める民間団体もあり、活発な活動を続けています。両市（区）の交流の歴史はセーラム市民にも多く知られており、大田区に対する認知度・好感度が高いことを感じることができます。

市長を表敬訪問した日は、2期目の当選を果たされた翌日でしたが、相変わらずお元気なご様子で満面の笑みの中でお迎えを頂きました。私共、訪問団から当選のお祝いの花束をお渡しさせて頂きましたが、予期せぬ事だったらしく大変喜んでおられました。

キンバリー・ドリスコール市長は大変気さくな明るい女性で、表敬訪問は堅苦しい形式的なあいさつの交換はなく、お会いしてすぐ市長室で冒頭から和気あいあい笑い声の絶えない和やかな雰囲気での会話が進みました。

市長も長年の交流を高く評価し、毎年、セーラム市民宅にホームステイをする大田区民（中学生）はどの家庭でも大歓迎され、帰り際には涙を伴い別れを惜しむことも多いとのことであり、市長ご自身も本区の中学生のホームステイを受け入れているとのことであり、大変うれしく感じました。

松原区長も就任の一年目に市長と今後の両市（区）の友好姉妹関係の継続について双方で確認し合っており、区議会も同様であります。今日までの経過・成果等から、交流は当然であり、そのことは空気のようなもので、当たり前のこととなっている事感慨深く感じました。



再選直後のキンバリー・ドリスコール市長と

ピーボディ・エセックス博物館への訪問では、長年のお付き合いをさせていただいております、ダン・L・モンロー館長があいにく出張でお会いすることができませんでしたが、リンダ・ハーディガン学芸部長が親しくお迎えして下さいした後、楽しくお話をさせていただきました。大田区郷土博物館とピーボディ・エセックス博物館との提携も着実に成果を挙げており、この交流もセーラム市との交流と同様に、空気のような当たり前の関係となっていることを改めて実感いたしました。さらに、大変貴重な物を後世に伝える博物館事業の大切さを改めて感じさせていただきました。

いずれにいたしましても、所期の目的である大田区とセーラム市の友好の絆が再確認されましたことを大変喜んでおります。今後共、真に区民・大田区にとりまして実のある交流がなされるように努めて参ります。



ドリスコール市長と田中団長



市長との懇談

平成21年度大田区議会セーラム市親善訪問・行政視察 概要

- ◆期 間 平成21年10月30日（金）～11月6日（金） 8日間
- ◆訪問都市 姉妹都市 アメリカ合衆国 マサチューセッツ州セーラム市
視察都市 アメリカ合衆国 カリフォルニア州サンフランシスコ市
カナダ オンタリオ州トロント市
- ◆団 員 団 長 田中 一吉 副団長 渡部 登志雄 団 員 伊藤 和弘
団 員 鈴木 康文 団 員 鈴木 隆之 団 員 押見 隆太
団 員 岡元 由美
- ◆行 程

	月 日	都市名	スケジュール
1	10月30日(金)	東京(成田)発 サンフランシスコ 着	日本航空JL002便(エコノミークラス) シリコンバレー視察 株式会社ディスコ
2	31日(土)	サンフランシスコ	サンフランシスコ市視察 臨海部施設等
3	11月1日(日)	サンフランシスコ発 トロント着	
4	2日(月)	トロント	トロント市視察 子育て支援センター、環境対策室
5	3日(火)	トロント発 ボストン着 ボストン～セーラム	セーラム市内視察
6	4日(水)	セーラム	親善訪問 セーラム市長表敬訪問 博物館表敬訪問・博物館見学 セーラム市内視察 議員団主催による夕食会
7	5日(木)	セーラム～ボストン ボストン～ニューヨ ーク発	日本航空JL005便(エコノミークラス)
8	6日(金)	東京(成田)着	

◆経費等

(1) 議員7人分 計3,985,190円 (議員一人あたり569,313円)

内 訳 (1人あたり)	航空賃等交通費、 親善訪問・視察経費等	390,043円	航空賃、空港税、空港施設使用料、 鉄道賃、現地車(バス)賃、通訳料、 添乗員同行費用等
	宿 泊 料 等	107,800円	宿泊料金、食事料金(朝・昼・夕)
	日 当 等	71,470円	日当、支度料

(2) 宿泊ホテル

サンフランシスコ(2泊): ザ ピックウィック ホテル
トロント(2泊): オークス ホテル オーバールッキング ザ フォールズ
セーラム(2泊): ホーソン ホテル

シリコンバレー 株式会社ディスコ支社視察報告

団員 鈴木 隆 之

去る10月30日から11月6日までの8日間、大田区と姉妹都市であるマサチューセッツ州セーラム市に、大田区議会7名の訪問団で親善訪問に行ってきた。私は経由地であるサンフランシスコ近郊のシリコンバレーに拠点を置く、株式会社ディスコのアメリカ支社の担当であったため、今回はその報告をさせていただく。

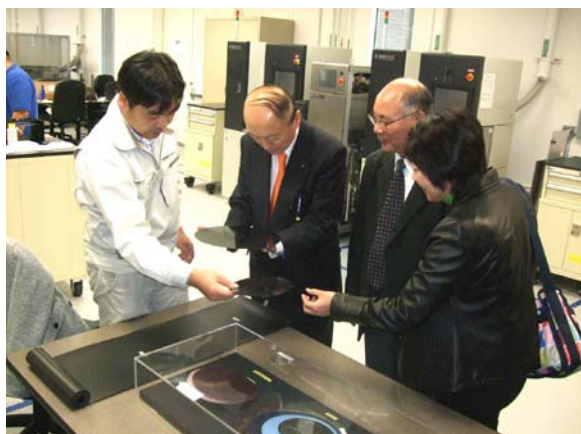
日本時間10月30日18:15日本航空002便にて成田空港を出発し、10時間ほどを要し時差のため同じく10月30日10:20サンフランシスコ国際空港に到着した。そこからバスで1時間ほど移動し、シリコンバレーに到着した。

シリコンバレーはアメリカ合衆国カリフォルニア州北部のサンフランシスコ・ベイエリアの南部に位置している。世界先端技術を有する企業の中でも、特にIT技術に特化した各企業が進出している。アップルやヒューレットパカード、そしてGoogleやヤフーなどそうそうたる企業の拠点がある。今回は大田区に本社を置く株式会社ディスコの創業一族であられる、関家圭三氏のご厚意により今回の訪問団の視察を受け入れていただいた。

株式会社ディスコは1943年第一製砥所として広島県呉市阿賀町に創業された。研削砥石の製造から始めた同社は急成長を遂げ、現在では「切る、削る、磨く」というこの3点に業務を絞り、世界最高の技術を有した大田区のみならず日本を代表する企業である。到着後1時間ほどの説明を受けた際、なぜこれほどまでにIT企業が集積したのかを尋ねると、一番の理由はやはり情報であることがわかった。

我が大田区も最盛期には9,000社あまりの工場が存在し、東大阪と並ぶ有数の工場地域であった。しかし、その数は年々減少し、現在では4,000を切っていると言われている。大田区の町工場の強みはやはり産業集積にある。その集積が企業間連携へと発展し相互の不足部分を補いながら成長を遂げてきた。やはり情報というものは企業にとっては何よりも重要であることが言える。その後、社内を見学させていただきながら、実際に製造された精密機器も見ることができた。

訪問したこの時期はハロウィンの直前ということもあり、社内でも思い思いの仮装をした方々が多くおられ、文化の違いを楽しく感じさせていただいた。短い時間ではあったが日本企業の海外での最前線の活躍を見ることができ、大変有意義な時間であった。業務多忙の中、今回の視察を受け入れていただいたご関係の皆様にご心より感謝申し上げ、今回の報告とさせていただく。



シリコンバレーの株式会社ディスコにて

セーラム市へ向かう途中、アメリカ西海岸のサンフランシスコへ立ち寄った。サンフランシスコの海岸沿いの栈橋（P I A）は、P I A 1のフェリー埠頭から順にナンバリングされていてP I A 37から45、46辺りまではフィッシャーマンズワーフと呼ばれ、観光客向けの店や観光船の乗り場として整備されている。

特に、P I A 39はレストランや土産物店などが数多く作られ、そのそれぞれが多量の観光客でにぎわっていた。

元の栈橋に板を敷き詰め2階はペデストリアンデッキで結び、左右の店を直接行き来できるようになっている。アトラクションもメリーゴーランドなどいくつかはあるがほとんどは店舗になっている。



フィッシャーマンズワーフ

レストランはもちろんシーフードが中心で、この名物であるカニ料理が多い。

それぞれの店は大変に個性的な店が多く、また、どの店からも海が見渡せるようになっていてウォーターフロントを強く意識したものになっている。もともと栈橋なので、規模はそれほど大きなものではない。全長でも500メートル程度ではないか。それなのに実に多くの観光客が訪れていた。

また、市内からは海沿いを回ってくる路面電車と、丘を越えてくるケーブルカーがいずれもフィッシャーマンズワーフまで通っていて、働く人や観光客の足として有効に活用されていた。ここも元はただの栈橋の一つに過ぎず、漁師たちのための食堂があっただけだそう。それを事業者が買い取り、観光地として整備をし、また市もその後押しをした結果が、現在はサンフランシスコのみならずアメリカ西海岸を代表する観光地になったということである。大田区にも海沿いの地域には同じ程の可能性を持った地域があり、羽田空港との距離を考えればもっと利用しやすいはずなのに使わないのはもったいない限りである。



市内の路面電車

また、サンフランシスコ市内も多くの観光客が訪れているがその方々のための政策も行われている。その一つがサイン計画である。

市内の通りにはすべて名前が付けられていて、角ごとにその表示がなされている。そのために初めて町を訪れた観光客もお店や宿を探すときに非常に役に立っている。サイン計画とは本来こういったものであろう。

ちなみに、親善訪問先のセーラム市でも同じようにサインがなされていた。町のガイドブックとサイン計画は多くの人たちに来てほしいと考えているのならば必要なものである。



市内の案内サイン

サンフランシスコでは、再開発地域の共同住宅も視察した。

トロント市子育て支援センター視察報告

団員 岡 元 由 美

トロント市の子育て支援センター「パブリック・ヘルス」を訪問し、グレディ・オタワ課長、栄養士のアンジェラさん、大阪堺市出身の保健師スギエ・ヨシコさんにお話を伺いました。

カナダでは積極的に移民の受け入れを行っており、その多くがトロント市に居住しています。トロント日本国総領事館のホームページによれば、トロント市の特徴は他民族構成にあり、民族構成としては英国系約40%、イタリア系約12%、中国系約10%、ユダヤ系約5%、ポルトガル系約4%で、それと共にイタリア人街、中華街、韓国人街、ユダヤ人街、ポルトガル人街という街ができあがっていて、こういった人種構成を上空から見るとモザイク模様に見えるというところから、人種のモザイク模様の町と呼ばれているそうです。

そのため、子どもの支援についてもカナダ国民のみならず、移民を対象とした多言語にわたる支援をしていることが最大の特徴です。

センター利用のきっかけは、①出産した病院から連絡を受け、帰宅後48時間以内に自宅に訪問する、②口コミで聞いて訪れる、③社会福祉機関が推薦する広報を見て訪れる、④モスクや社会支援団体から紹介を受けて訪れる等です。②から④は利用者の自発性によるものですが、①は大田区でも今年4月から名称が「すこやか赤ちゃん訪問」にかわって、生後4ヶ月までの新生児を対象に訪問を行っていますが、帰宅後48時間というスピードに大変驚きました。



パブリック・ヘルスでのレクチャー

その大きな理由は、日本と違い出産後2～3日で退院させられてしまうからで、特に初めて出産した母親にとって、自分の身体の回復も充分でないうちに、生まれたての赤ちゃんの世話をするのは大変なことで、むしろこのようなサポートや情報がなければ、母子ともに安全な生活を送ることは困難であると感じます。

その後も貧困や若年等のリスクの高い家庭には、1～2週間に1度の割合で継続的に訪問し、サポートしていきます。これを「ファミリーホームビジター」と呼び、同じ言語で話せる職員や子育て経験のあるボランティアがあたります。

センターの目的は、親子の絆が出来るようにすること、また育児の能力を付けさせることですが、初期の介入つまり出産直後の訪問こそ、親子の絆が出来るか否かのカギとなる重要な事業と感じました。

また、新生児から6歳までを対象に、最初から完璧な親などいない「ノーバディズ・パーフェクト」や言語・聴覚機能などに障害をもつ保護者向けなど、子どもや親の状況に応じて7つのプログラムを推進しています。

親子の絆をつくる方法としては、家庭でできるホームワークを勧めています。新米の親が一人前の親になっていくための訓練です。疲れている親が、わが子を愛せるようにと様々なグッズを提供しています。いつも目に付くように冷蔵庫に貼れるマグネットには、「子育てはとても大切なすばらしい仕事よ」とか、「あなたの子どもを褒めてあげてね」といった内容が、とても簡潔に書かれています。疲れたママが助けを求められるようにセンターの電話番号が書かれているものもあります。CDには「赤ちゃんを愛して」という歌が温か

い声で歌われています。

トロント市の年間の出生者は約3,500人で、センターではコスト効果から10～15人程度の親のグループを作って提供しています。もちろん、全ての人に平等にとの観点から多言語のグループ構成になっています。例えば、子どもがぐずって昨晚眠れなかったと誰かが悩みを打ち明ければ、私はこうして乗り越えたなどと具体的なやり取りがなされ、参加者は何らかの方策を見つけて帰ることができます。通訳をしてくださった地元のガイドの方も、結婚後カナダに渡り、最初の子どもの時は言葉もよくわからず、この親グループに大変お世話になったと語っておられました。孤立しがちな移民の方々に近隣の親同士のネットワークを提供することは、サポートの中でも大変に重要なことと感じました。



トロント市パブリック・ヘルス

センターが特に課題としているのは、10代で出産した若い母親がセンターの事

業に参加しないことで、本人が未熟な上、訪問にも応じないため育児放棄や虐待などの問題が起こっているとのことでした。彼女たちは親になるための準備が整っていないと言えます。

このような家庭の子ども達の栄養状態を上げるために、専門の管理栄養士6名と栄養士2名が多文化に合わせた栄養価値を教えています。また、育児の能力を付けさせるプログラムとしては、32言語でワークショップを行い、実際に調理も行っているそうです。また、貧困層にはセンター訪問等のバス代の支給、ミルクや最低の食品が買えるカードも支給します。トロントでは、子育てに困っている人には徹底した援助を行っていると感じました。

現在、中国をはじめアジア諸国から日本の農業のノウハウを学ぶために多くの青年が来日していますが、彼らはやがて自国に帰っていくわけで、日本の農業を支え続けてくれるわけではありません。世界でも類を見ないスピードで加速する少子高齢化対策として、介護分野のように絶対的に不足している人材を補う意味でも、近い将来カナダのように積極的に移民を受け入れていくことになるのは必至と考えられます。その時、カナダの例に倣えば、移民の多くは首都東京に、そして日本の玄関口羽田を擁する大田区に居住されるのではないかと思います。そのためには、世界中の人々が日本に移民しようと望む魅力ある日本でなければならないし、何よりもまず、受け入れる日本人が他国、特にアジア諸国に対する差別意識を無くさなければならないと痛感します。

もっと色々伺いたいことがありましたが、先方の時間の都合で2時間の時間制限があったこと、実際グループ懇談やワークショップされている現場を見られなかったことが残念でしたが、多国籍の人々による多文化共生の社会への対応のために、今回のトロントの子ども支援センターの訪問は大変有意義な視察となりました。有難うございました。

トロント市環境対策室視察報告

団長 田 中 一 吉

私共、大田区議会セーラム市訪問団は、セーラム市訪問の往路、環境保護施策の先進市といわれているカナダのトロント市を訪れ、本区の施策の参考とするため、同市の環境保護施策について調査をいたしました。

11月2日(月)、午前中の子育て支援センターに続き、午後、トロント市役所において、市の環境対策室のマコーミック氏から同市の環境保護施策について説明を受けました。

資料によるトロント市の環境対策については、90年代初め、トロント市所有の資産売却による資金をもとにトロント大気基金を設立、地域における温暖化防止への取組みやプロジェクトに資金やローンを提供するなど、効果的にCO₂削減を実行に移しています。また、同市所有の既存のビルに対するエネルギー効率と省エネ基準の導入、地域冷暖房システム導入などの戦略的プランを実施し、環境と経済の両立を目指した対応を続けているとしています。

トロント市議会では2004年、化石燃料の使用量を減らし、大気汚染の緩和に向け、トロント市公用車をバイオディーゼル車にといった環境に優しいグリーンフリート計画を採択、2007年、第一段階終了時には5,000トンのCO₂削減を実現しているとしています。

同氏の説明によりますと、同市は、北米第一の環境保護先進自治体を目指し、現在、リブ・グリーン・トロント5年計画に基づき、市民や企業参加による地球にやさしい街を目指し、様々な施策に体系的に取り組んでいるとのことであり、諸施策について説明を受けました。

具体的な施策展開と共に啓発活動が重要との認識から、啓発活動の内容についての説明がありました。

環境を守るための市民の活動や企業の大気汚染防止対策やエコ製品開発等、環境保護に資するための様々な行動や成果を挙げた個人・グループ・団体に対して表彰を行い、その事も新聞等で大きく取り上げられ、啓発に役立っているとのこと。なお、そのような表彰は、市民の注目度を上げるため、“地球の日”を定めており、その日に行うことにより施策効果を高めているとのことでありました。また、コンサートや食事会等、約3万人が参加する大規模な啓発イベントの実施や地域での様々な啓発イベントも数多く、環境ボランティアを中心に開催されているとのことでありました。さらに、全市的な取組みや地域社会での実質的な活動が不可欠であり、前段申し上げた環境ボランティアの育成が重要との観点から、1万人を超える環境ボランティアを育成するため、年200人程度を対象に研修活動を続けているとのこと。併せて、市として一年契約で環境問題の専門家4名を雇用し、環境保護活動全般を指導・対応してもらっているとのことでありました。そのほか、環境保護を訴える、あるいは成果等のビデオ作成のコンテストを子供・学生を対象に行っているとのことであり、市民一人ひとりが環境問題の重要性を認識することが大事であり、啓発活動の重要性を訴えておられました。

次に、施策として補助金等でインセンティブを与える具体的な取組みについて説明を受けました。屋上緑化(クールルーフ、グリーンルーフ)芝生の散水時における節水を図るための専門家派遣事業、節水型トイレ器の設置、企業の事務所等への節水査定、洗濯機の節水型への交換、家屋の断熱材化支援等、それぞれ一定額を補助するなどの施策を展開しているとのことでありました。

我が国でも、国、東京都、また本区としても様々な地球環境保全の施策を展開しており

ますが、トロント市が行っている施策の中で我が国においても実施を検討すべきと考えるものも散見されました。また、特に啓発活動の重要性に基づく継続的で多様な取組みについては、本区としても大いに参考とすべきであり、更なる充実が求められると強く感じたところであります。

セーラム市長表敬訪問

団員 鈴木 康 文

米国マサチューセッツ州にあるセーラム市。ビーギーズの名曲マサチューセッツを思い出させる郷愁溢れる美しい景色景観に香り。歴史の深みを感じる街並みと鮮やかな紅葉のコントラストは時を忘れる。街を行きかう人々もどこか穏やかで日頃の喧騒とは程遠い。

セーラム市は人口4万人と小さな田舎まちだが、夏から秋のハロウィンにかけて年間100万人もの人々が訪れる観光地である。特に、ハロウィン祭には世界中から観光客が集まり、米国屈指のハロウィンフェスティバルが繰り広げられる。さすが魔女狩り魔女裁判が行われたまちだ。そんなセーラム市政を取りまとめる市長のキンバリー・ドリスコールさんを表敬訪問した。

我々の表敬訪問前日がセーラム市長および市議会議員選挙投票日だったので、訪問前日の夜、選挙速報にてドリスコール市長の再選を確認し親善訪問団一行で喜び合った。

再選の決まった翌日で多忙なスケジュールとあり、ドリスコール市長との会談は予定時間の半分とわずかになってしまったが、選挙戦の疲れも見せず我々の質問に対し親切丁寧に答えてくれた。

ドリスコール市長との会話を紹介すると、まずこのたびの選挙戦についての感想は、前回は対抗候補と僅差の戦いで内心穏やかではなかったが、今回は最初から大差がついていたので気持ちにゆとりがあったようだ。市長の表情からもそんな様子が見て取れた。

今回の選挙で10人いる市議会議員のうち一人が引退し新しい議員に変わったが、残りの9人は再選であり市政の状況を把握しているので市政運営はやり易く、また議会との関係も概ね良好とドリスコール市長は話していた。

選挙の投票率について聞いてみると、地方選挙は相対的に投票率が低くなく、今回も約30%とのことだった。

セーラム市と姉妹都市になってから、大田区より延べ900人を超える学生たちが同市を訪問しホームステイを体験しているが、ドリスコール市長自身も二度大田区の子どもたちを預かったようだ。

議会のテレビ放映についてドリスコール市長から質問があった。

以前、テレビ放映がなかった時期、セーラム市議会はわずか30分程度で終了していたが、テレビで公開後議会が1～2時間になったと裏話を聞かせてくれた。

さて、このたびのセーラム市長表敬訪問は、限られた時間のうえにもさらに会談時間が少なくなり残念な部分もあったが、双方の変わらぬ友好親交を確認でき意味ある表敬訪問ができた。

M O S T S I N C E R E L Y ,

ピーボディ・エセックスミュージアム視察報告

団員 押見隆太

セーラム市親善訪問の行程の6日目、11月4日に市街地中心部にあるピーボディ・エセックスミュージアムを視察しました。

まず、館の説明として、オフィス棟を訪問し、Lynda Roscoe Hartigan Chief Curator（リンダさん）とChristopher R. Reaske, Ph.D. Chief Philanthropy Officer（クリストファーさん）の歓迎・説明を受けました。クリストファーさんの名刺の裏面は中国語による名刺になっており、事前には聞いていたがいきなり中国色の洗礼を受けました。

その後、博物館に移り、以前にピーボディ・エセックス博物館で日本ブースの学芸員をしておられた岡みどりさん、そして中国ブース担当のブルース・マックラレン学芸員から展示品の説明を受けました。

皆様ご存知のとおり、ピーボディ・エセックスミュージアムは我が大田区の郷土博物館と姉妹関係を結んでおります。以前はミュージアムのフロント部分に日本関係の美術品が展示されていたとのことですが、現在では日本関係の展示品はかなり隅のほうに展示しており、2万点あるうちのわずかが展示されているだけで、ほとんどが倉庫に眠っているとのことでした。また、以前学芸員だった岡みどりさんも現在ではピーボディ・エセックスミュージアムを退職しており、インフォメーションには日本語の案内もない状況でした。

一方ここ数年、中国関係の美術品に力を入れているということで、先ほどの名刺の件はもちろんのこと、ミュージアムの中庭には、上海近郊の商人の旧宅「Yin Yu Tang」が移築されていて、このミュージアムの目玉にもなっています。そして、中国ブース担当のマックラレン学芸員もおり、中国関係の美術品が多数展示されています。

ミュージアムを訪問する前までは、多数の方々の意見と同じように「郷土博物館と姉妹関係を結んでいるのに、なぜ日本関連の美術品が隅に追いやられているんだ。しっかりとミュージアム側に抗議しなければならぬ。」と考えておりました。

しかし、現在のミュージアムを眺めていると、もし、このミュージアムの目玉となっている中国商人の旧家が、日本の茅葺き屋根の旧家だったらどうだったろうと考えてしまいます。推測ではありますが、たぶんこの旧家は中国人の華僑とか資産家が、もしくは人民政府が寄付したのではないのでしょうか。もし、大田区に数多くあった茅葺き屋根の旧家を大田区が、また日本がこのミュージアムに寄付していたらと考えると、もしかしたら今の展示品は全く逆の位置に置かれていたのではないかと考えます。私が見た限りでは大田区からの寄贈パネルには誰々が協力したという一覧表が堂々と隅に貼ってありましたが。

現在の日本ではまだ寄付文化が根付いていなく、また国を愛する、世界でもしっかり日本をアピールするといった意識が、文化上も教育上も低いためこのような現実をしっかりと噛み締めなければいけないと考えますが、この先、大田区も国際化していく上で、寄付文化を時と場合によっては「損して得とれ」くらいの気概をもって諸外国に対して行動する必要が強く感じられた今回のピーボディ・エセックスミュージアムの訪問でした。

セーラム市親善訪問団に参加してのあとがき

副団長 渡部 登志雄

親善訪問、視察、交流など全体の項目を含めた内容の報告をさせていただきます。

<はじめにサンフランシスコ市 株式会社ディスコ様を訪問して>

シリコンバレー街に、世界に名だたるIT関連の会社が集積しておりました。<ヤフー、グーグル、アップル、オラクル等々>まさにアメリカ発のコンピューター産業が、所狭しと並んでおりました。そこに日本の株式会社ディスコ社が厳然と開発製作工場として構えておりました。

ディスコ社は半導体製造装置、精密切断装置の開発・製造する企業で、世界シェアの70%を占めているIT関連企業であり、日本のそして、大田区大森北に本社を構え、本社だけで約1,000人の社員をかかえております。具体的には、半導体のチップのウエハーを「切る、削る、磨く」ための機械装置を作っています。一台3千万円から1億円以上もする機械であります。今年は不況のあおりで、売上は落ちておりますが、経常利益は確保しており、上場も果たしております。大田区の技術が世界に通用しているとの実感が湧いてきました。これからも世界に通用する企業群を育てていかねばならないと思いました。

サンフランシスコ市はカルフォルニア州にあり、消費税は9%で食料品もすべて課税されているとの事です。また、高速道路はアメリカ全体（カナダも同じ）で全て無料になっています。しかし、その財源は重量税などで課税しているので、高速料としてとっていないだけです。また、高速でありながら道路がガタガタで、整備されていないところが多いように思えました。財源がないのかどうか？<日本も民主党政権が高速道路を無料にするとのマニフェストを掲げているが、やはり財源不足問題とCO₂削減など課題となっている。>

次にカナダ・トロント市は、空港の敷地が成田国際空港の3倍で、空港へは住宅地など陸地を通過して着陸しました。羽田空港は海側を通過して離着陸するのがあたりまえですが、トロントはそうならないので聞いたところ、やはり騒音の問題で夜の時間を地域との話し合いで決めているとの答えでした。

<トロント市の保健省子育て支援センターを視察>

大田区の子ども家庭支援センターとほぼ同じ機能ですが、悩み別に各グループを作って、親同士の情報交換で解決しています。センターで相談するだけでなく、出前方で実施しているので、訪問したセンターには親子は誰もいませんでした。特に、親同士での情報交換の場作りは大田区でも参考になるのではないかと思います。

トロント市の特殊出生率は2.1で下がってきています。（大田区は1.0）。支援センターでの一番の悩みは10代の女性が妊娠した場合に支援相談室に相談に来ないことで、大きな社会問題になっています。

<トロント市環境局訪問>

「北米では一番環境が良い街がトロント市、ヨーロッパ全体も含めると一番ではないが、一番を目指して検討し、実施している。」との事でした。

環境対策は、気候変動にともなうCO₂削減目標を市としてきちんと持っており、企業に

も市民にも環境教育を実行していました。環境を推進しているところには報償を与えますが、真面目に取り組まない企業などには逆にペナルティを課すような制度も作り、積極的に進めていました。そして、すべての市民団体に京都議定書で示された削減目標を達成するように教育もされていました。(緑化対策、節水対策など)

大田区はまだまだ甘い。区民まで及ぶような環境対策を講じていかないと大変なことになってしまいます。今後はさらなる緑化対策、環境対策に取り組んで効果を上げ、また成果を上げるために地域力を生かした取り組みをしていかなければならないと感じました。

<セーラム市 市長との親善訪問交流>

市長選挙が訪問日前日に終わったばかりで大変忙しい時間でしたが、1時間あまり懇談交流しました。

市長としての一番の悩みは、リーマンショック以来、アメリカ全土の不況で、州財政が厳しいので市への補助金が削減されて困っている。警察、消防も含めての削減計画を作らなければならないとの事でした。

また、セーラムも温暖化で、先週は雪が一日二回も降った後、翌日は暖かくなって寒暖の差が激しく対応が難しいとの事で、温暖化現象がどこの国でも起きている状況を感じました。

午後にピーボディ・エセックス博物館を訪問し、案内をしていただき全室見ることができました。

日本コーナーは、日本の歴史、民芸品を通しての江戸時代からの移り変わり、鎖国令の状況での外国との交易、交易商品製品の展示もされていました。特に、オランダとの交易では、船が当然狙われており、それを防ぐ意味で、アメリカのセーラム港に立ち寄って、敵から守りながら交易を続けている模様の展示もありました。そうした歴史から見ても日本とセーラム市との関係はモース博士の大森貝塚遺跡を通じた文化の交流だけでなく、経済面でも大きな交易などの歴史の事実を見ることができました。

そして、今回の訪問団交流を通して、国と国との交流、人間と人間との交流が心の交流となり、世界平和を築く上で怠ってはならないものと実感しました。



セーラム市 議場にて

大田区議会北京市朝陽区親善訪問団報告

はじめに

団長 永井敬臣

大田区が中国北京市朝陽区と友好関係を締結してから何年になるのだろう…12年の歳月が経ったとのこと。私も大田区議会の代表団としての正式訪問は三度目であり、その他の関係でたびたび訪問させて頂き、外国というより国内の一地区との友好関係構築のように、身近に感じてしまう昨今であります。

さて、今回の訪問に大きな意義を感じ、大きな責任を背負う気概で出発の日を迎えたのは私一人ではないと思います。それは羽田空港を抱える地元大田区議会議員として平成22年の羽田空港の再国際化に向けた様々な問題を日ごろから一つひとつ解決しながら、大田区の発展と地域住民にも利益をもたらすための諸事業を積み上げていかなければと、何時も胸に秘めている区議会の同志の心中を察すると高ぶる気持ちが強くなるのも仕方なく感じるものがあります。

突然、政権交代により就任した前原国土交通大臣が羽田を国際ハブ空港化するとの発言には、よくぞ言ってくれた、と心の中で大きく「喝采」してしまったものです。成田のことを思うと…などと思わず、羽田の持っている地の利を大田区の武器にして、大田区民を幸せにできることに私はまい進したいと日頃から感じていましたのでうれしくて仕方ありませんでした。加えて、羽田から北京への直行便が10月25日より就航すると発表され、大田区議会訪問団はその初フライトで北京に行こうと団員一同楽しみにしていたことが実体験できたことであります。

そして、私自身北京市朝陽区人民代表大会常務委員会主任の王力軍女史に今年三度目の会見ができたことに大きな喜びを感じさせていただきました。平成19年の区議会訪問団としてお会いし、今年5月に王主任が北京市朝陽区友好訪問団で来日し、8月には東京都特別区・市・町村議会議長会友好代表団の一員で北京を私が訪問し、今回羽田から北京への直行便初フライトで大田区議会親善訪問団代表としてお会いできたことであります。今回も大変丁寧なおもてなしをして頂き、大田区と北京市朝陽区のより一層の交流と発展、そして青少年の相互交流の活発化を約束してきたところであります。

次に、大連市へ訪問いたしました。初めて大連市を訪れたのは、日中友好30周年事業でした。羽田から北京への直行チャーター便「東京の翼」で訪れ「ここが中国なのか！」と驚きました。戦前からの話ばかりのイメージが頭にありましたが、とても近代的な、整備された町並みが出現しました。聞きましたら、時の鄧小平の号令一下で都市の大改革が始まったそうで、羨ましく思い恐怖すら感じたものです。この国は世界にとって怖い存在になるなどの想いを始めて肌で感じた瞬間でありました。

そして、平成19年、北京の次に訪問した際、近藤議員が古くからお付き合いしている「魏富海元市長」の取り計らいで、考えてもいませんでした「時の夏徳仁市長」にお会いしました。人口600万人以上の市、日本で言いますと、都道府県知事に当たる方がわざわざ時間を割いてくれたことに、人と人のお付き合いがこんなにも大きな力で動くことを改めて思い知った次第であり痛く心に残ったものでありました。その時に、立場もわかまえず「羽田空港と大連周水子空港」の直行便を実現させたいと言ってしまうしましたが、大連市経済特区と大田区工業連合会との交流の推移を見て大田区工業連合会幹部の皆様の苦勞と努力に敬意を感じていました。

また、大連の発展は今後驚異的なものになると私は思っています。街の景観も素晴らしく海産物の豊富さ、日本人にも違和感のない食べ物等々、何度でも訪れたい街の一つとして大田区との関係を強くしていきたいとの思いが独りよがりですが強くありました。そんな思いの中、近藤議員の水面下の働き掛けで大連市人民代表大会常務委員会要人と会談し、



今後友好協力関係を促進するため、人民代表大会常務委員会副主任、陳利民氏(写真着席者の右)と大田区議会議長の名で覚書に署名致しました(覚書は別紙のとおり)。今後は大田区議会と大連市人民代表大会と信頼関係を構築しながら、結果として両市区の相互の発展に寄与するための活動を展開する決意であります。

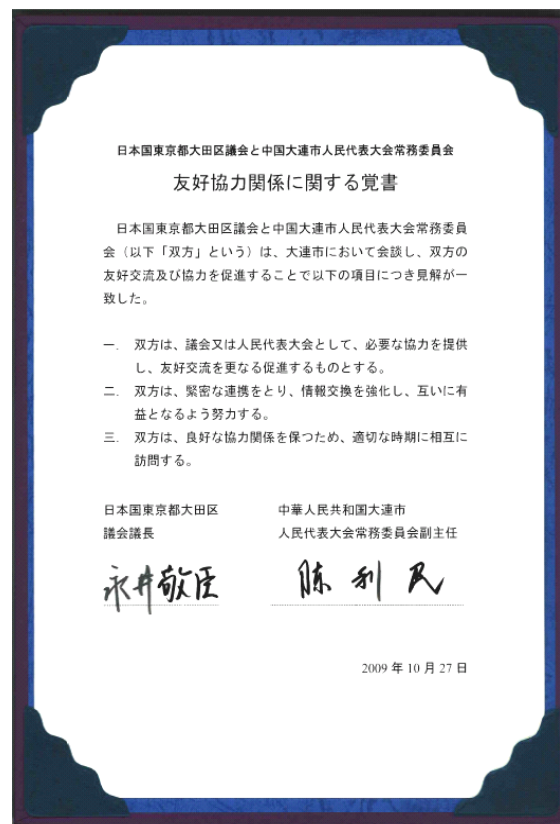
最後に上海に立ち寄りしました。上海市对外文化交流協会、呉曉寅副秘書長と面談、青少年の交流を大田区とも活発に行いたいとお話を熱く語っていただきました。

上海は来年の世界万博に備えての工事が盛んで、どこ行くにも交通渋滞で日本の東京オリンピック前後のことを思い出しました。それにしても、いつ来てもこの街の建築物は、奇妙というのか奇抜と言ったほうがいいのか、建築家が競って技を、発想を展開していて、街中が建築家の発表会場のように楽しい街です。

訪れるたびに発展している北京・大連・上海。人々も着るものから顔つきまでが豊かで活気があり、リーマンショックなどどこ吹く風のようにありました。今年も経済成長が8%を超す、と涼しい顔で語っていたのは、どこの市も同様でしたが、一方でキャノンの大連工場の従業員の月給は日本円で15,000円と日本人スタッフが教えてくれました。

幸せってなんだろう、今、日本の置かれている立場、日本人の思い、変な事件の連続、…一度家族や友達と一緒に中国を訪れ、町を歩きながら中国から日本を見直し考え、自分たちの日本がすごくありがたい国であることの共通認識を持たなければと強く感じさせられています。

何はともあれ、今回の議会を代表しての訪問にもっとたくさんの議員同士と同行しながら思いを共有したかったことをお伝えして報告といたします。機会をくれた同僚に心から感謝しています。ありがとうございました。



平成21年度 大田区議会北京市朝陽区親善訪問・行政視察 概要

- ◆期 間 平成21年10月25日（日）～10月31日（土） 7日間
- ◆訪問都市 友好都市 中華人民共和国 北京市朝陽区
視察都市 中華人民共和国 北京市、大連市、上海市
- ◆団 員 団 長 永井 敬臣 副団長 飯田 茂 秘書長 近藤 忠夫
会 計 高瀬 三徳 団 員 安藤 充 団 員 松原 秀典
団 員 高橋 博 団 員 黒川 仁
- ◆随 行 議会事務局長 須藤 常好
- ◆行 程

	月 日	都 市 名	スケジュール
1	10月25日（日）	東京（羽田）発 北 京 着 北 京 市	全日空1285便（エコノミークラス） 北京市内視察
2	26日（月）	北 京 市	朝陽区親善訪問 朝陽区人民代表大会常務委員会 及び人民政府表敬訪問 朝陽区人大常委・人民政府主催昼食会 北京市内視察 大田区主催懇親会
3	27日（火）	北 京 発 大 連 着 大 連 市	大連市表敬訪問 大連市人民代表大会常務委員会表敬訪問 及び覚書締結 日中貿易投資展示商談会場視察 大田区・区議団主催懇親会
4	28日（水）	大 連 市	大連経済技術開発区視察 大連経済技術開発区主催昼食会 大連市内視察
5	29日（木）	大 連 発 上 海 着 上 海 市	大連市内視察 上海市内（歴史的景観保存地区～朱家角）視察
6	30日（金）	上 海 市	上海市対外文化交流協会訪問 上海の都市設計（上海都市計画展示館） 及び歴史展示物視察
7	31日（土）	上 海 発 東京（羽田）着	上海市内視察 全日空1282便（エコノミークラス）

◆経 費 等

(1) 議員8人分(2,954,678円)＋随行者1人分(357,040円) 計3,311,718円

内 訳 (議員1人 あたり 369,335円)	航空賃等交通費、 親善訪問・視察経費等	229,965円	航空賃、空港税、空港施設使用料、 鉄道賃、現地車(バス)賃、通訳料、 添乗員同行費用等
	宿 泊 料 等	76,400円	宿泊料金、食事料金(朝・昼・夕)
	日 当 等	62,970円	日当、支度料等

(2) 宿泊ホテル

北 京 北京飯店（2泊）
大 連 スイスホテル（2泊）
上 海 ロンジモント上海（2泊）

朝陽区人民政府表敬訪問

団員 高橋 博

今回の訪問は、羽田ー北京間の直行便就航を祝う初フライトを利用させていただき、出発に際し日中双方のお見送りがありました。議長を中心とする議会の訪問団と、区長を中心とする大田区民の訪問団がそれぞれ活発に親善友好、協定の締結を見る意義あるものとなりました。

ところで、友好の歴史は昭和51年当時の区長が訪問し、平成10年に友好都市を締結しました。以来隔年の相互訪問により友好を深めております。

会見場所は、CDB国際会議センター(写真下)で、庭園付きの迎賓館のような重厚で歴史を感じさせるところでありました。外では結婚式の記念撮影が大型リムジンの前で行われておりました。われわれを迎えて下さったのは、毕泗平副主任(Bi Siping vice-director)、女性部長を中心とするメンバーでありました。

中国の経済成長は目覚ましく、輸出高でも外貨準備高でも日本を抜き、近くGDPも抜くと予想されます。本年1～3月期は6%と低調だった経済成長も10月には9%を回復し



ております。このたびの世界同時不況のための財政出動として、人民政府は1,917万元の拠出をして経済回復をはかったそうです。

婦人委員会が活発な活動をしており、副主任より発言を求められておりました。男女共同参画は、韓国にも見られるように東アジアのトレンドかもしれません。

これまで文化交流をしてまいりましたが、友好関係の仲良しクラブはそろそろ卒業して、「実利ある」

関係を樹立しなければなりません。かつて郊外の酒造の郷鎮企業や繊維加工の工場を見させていただきましたが、これらと大田区の中小零細企業と交流できないでしょうか？そのコーディネーターとして産業振興協会の活躍が望まれます。交流のライフステージも幅を広げ、青少年から団塊の世代まで拡大してはいかがでしょうか。

それにしてもスモッグかガスっているのか分かりませんが、空気は悪く、環境関連の治安もいかがかと思えます。環境問題では日本は大きく協力できると思えます。区内にも事業者を見ます。また、中国の略字文化と世界共通語については研究の価値があると思えます。

北京空港に到着したその日に、北京市内を視察した。

北京市への訪問は私にとって三度目であるが、前二回(2002年・2004年)が北京オリンピック開催前であったため、市内全体の変貌ぶりにまず目を奪われた。以前訪れた時には、市内のいたるところで古い住宅が取り壊され道路の工事が行われていたが、今回は新しい建物や高層マンションが完成し道路網も整備されており、近代都市としての「まちづくり」がしっかり整えられている印象を受けた。オリンピックスタジアムがあった「鳥の巣」地区も以前は工事の真っ最中で雑然としていたが、今回はきれいに整備され、各種の競技会場や広場は現在記念会場として市民に開放されており、かつての選手村はマンションとして市民に利用されているということであった。

市内を走っている自動車も以前はぶつかった跡のある古い車が多かったが、今回はほとんどの車が世界的なメーカーの新車ばかりであった。トロリーバスもおしゃれなデザインなものに取り代わっていた。経済的かつ文化的な発展を感じるとともに、交通渋滞や排気ガスなどの都市問題も深刻化している様相をうかがい知ることができた。

北京市内の環状線の高速道路は見事で非常に便利であるが、その建設の際に多くの歴史的文化的財が取り壊されたという。中には少し迂回して曲がった部分もあるそうだが、「進歩発展と文化遺産の保存」という命題は、どこの国にも共通しているようである。

翌日は「朝陽公園」と「天安門広場」を訪れた。「朝陽公園」では、大田区と朝陽区との親善友好記念碑を拝観したが、相互の交流の意義と重要性を再認識することができた。今後ともお互いの益々の交流とそれぞれの発展を心から願うところである。



朝陽公園にある親善友好記念碑前にて



天安門広場

久しぶりに訪れた「天安門広場」には、建国60周年を祝った各種のモニュメントが飾ってあった。その中に柱状の巨大な置物があったが「中国国内に存在する56の民族を象徴している」という説明を受けた。多民族国家をまとめているこの国の膨大なエネルギーを感じるとともに、その裏に潜む統一の困難さを想像することができた。かつて日本でも1964年に東京オリンピックが開催され、それを契機として高速道路や新幹線やモノレールが完成し、トイレを水洗にするために道路を掘り返して下水道が整備

され、東京中が大変貌を遂げ、オリンピックという世界的なイベントを成功裏に成し遂げたことによって、戦争に敗れた日本人の心も精神的な自信を回復したように感じたこと

があった。今回の視察で北京市の大きな変貌と発展の様子を鑑みて、おそらく北京市民も我々日本人と同じような思いを体験したに違いないと推察することができる。今後の北京市と中国の益々の発展が予測され、大田区と朝陽区の相互の友好関係も益々進展していくであろうということを強く感じた有意義な視察であった。

最後に、丁寧に案内と説明をしてくれた現地ガイドさんと添乗員の方に心から感謝申し上げたい。

今回の中国北京市朝陽区親善訪問に初めて参加しました。朝陽区親善訪問は友好親善が大田区と結ばれて約12年経過しているとのこと。10月25日は羽田空港と北京首都空港との間で直行便の第一便が飛ぶ日で、この第一便の記念フライトに搭乗できたのは大変光栄でした(右写真は搭乗する前のANAの祝い)。また区長一行とも便は違いましたが、羽田ー北京間直行便就航をお祝いしました。次の機会には多くの区民にお声を掛け友好親善になればと考えます。



北京空港から大連周水子空港には10月27日に到着し、午後から大連市人民代表大会常務委員会副主任の陳利民氏と人民代表大会ビル(議会棟、下写真は議場の様子)で今回の訪問のテーマであります覚書に署名しました。なお、平成20年大田区を訪問し署名して下さった共産党大連市委員会党書記の夏徳仁氏は所用のためご不在でした。

上海、北京は羽田から直行便がありますが、大連とは成田からで羽田からは直行便はございません。いまや中国は、遅くとも平成22年早々に経済の大きさでは世界第2位になり、そのうちアメリカを追い越す勢いです。経済成長率は平成21年1月から9月までで年率13%を超えているそうです。中国全体でも10%を超えると言われていますが、これからの



世界経済は中国やインドなどの人口の多い国で、人件費が低く成長がかなり望めるところが発展すると思います。大連に工場がある日本企業で働く人の賃金平均は20歳前後で約18,000円程度だそうです。大田区の企業にとっても中国と仲良くしていくことはとても重要なことです。大連の環境は風光明媚で日本人向きであると思いますし、今回訪問した3都市では一番落ち着ける街だと思います。旅順港は軍事の争いの日清戦争、日露戦争を経て多くの戦跡が残されています。

大連市視察報告

団員 高瀬 三徳

北京朝陽区表敬訪問をして、大連市表敬訪問を行いました。そして大連で、開発区管理委員会へ行き、経済貿易局生偉副局長(写真右)に大連開発区の概要を伺いました。

大連は中国で25年前第1号の経済開発区(写真下は、開発区管理委員会の庁舎、ちょうど25年を祝う横断幕が掲げられていた)では、中小入れて外国企業は3,000社、日系企業は約100社あり、広さは330平方キロ、人口は50万人、日本人は5千~6千人おり、2・3年前までは日系の割合が多



かったが、今では欧米や中国の大手企業、国営企業が増えてきました。製造関係が揃っていて、5年前までは業種の裾野が揃っていないと言われていたが、今では金型プレス等増え、業種が揃うようになりました。

人件費は安く、上海、広東よりも安い。しかし段々と人材が集めにくくなっています。そして今は内陸部から連れてくるということです。そして大連開発区は、工業団地だけではなくまちづくりの計画からも、生活面も行政サービスも充実しています。

考え方として、大連で稼いだものは大連に落としてもらうとして、企業としては、メリットがあるということです。そしてこれから大連は付加価値の高いものをつくっていかねばなりません。これから自動車重機やシステムコントロールといった分野にも力を入れていくでしょう。行政面では5年かけて300億~500億元といった金融政策を打ちだしていて、中国でも最も優遇されたまちです。そして全世界から税政面や家賃の減免等を行い、企業を誘致しております。

リーマンショックにおいては、2月はとても苦しく欧米や日本系の自動車部品関係は生産0の時がありましたが、5・6月では7・8割に持ち直し、今では100%だそうです。しかし、全体の単価は下がっています。これから日本の企業が成功するには日本の本社に縛られるのではなく、中国は急に成長しており、中国のマーケットに合った営業、経営をしていかないとならないというような説明を受けました。

キャノン大連事務機器有限公司へ訪問して、工場見学と説明を受けました。(キャノンは中国語表記では佳能、写真は工場の看板)

工場においては広大な土地、建物、多くの従業員がおり中国の大きさを示していたようでもあります。

説明は工場長で、この会社には日本からは数名しかおらずほとんどが現地中国人であります。キャノン大連は1989年設立で登録資本金が136億円、敷地面積は約17万平方メートル、従業員



は約7,000人、現在では年商650億円です。従業員は、上海の方では、四川や中国全土から集められ、ここ大連では東北3省の遼寧省、吉林省、黒龍江省から多く集まります。南方に比べると従業員の定着率はよく月に3%の退職で済むとのこと。福利厚生として食堂、喫茶室、体育館、ジム、図書室、コンピューター室等、寮が完備され7,000人の社員のうち約6,000人が利用し、地方からの就業が多い。たとえば月給約15,000円、寮費は食事がついて2,000円位とハード面でも、そしてソフト面からもキャノン独自の共済制度があり、充実しています。運動会が行われたり、弁論大会が行われたり、社員のモチベーションを高めることも行われているようです。そして企業として環境に配慮してリサイクル活動や小学校をつくり、大学にはキャノンの奨学金制度の創設をして様々な社会貢献をしています。

先のリーマンショックにおいては3月には4千人の社員に自宅帰郷してもらったそうですが、6月には平常どおりになり1人も契約解除せずになっています。それどころか、9月からは増産しており、2010年からは社員を8,000人に増員する予定です。他の日系企業も同様ではないかということです。そして人材不足であり、大連のまわりのまちや東北3省でも賃金や生活レベルが上がり人材の確保が難しくなってきた模様です。

星海広場において大連中日貿易投資展示相談会が開催され、わが大田区の(社)大田工業連合会が出展しており、

会長に話を伺ったところ、はじめての出展でやっとなさたどり着いたという感じで、ホッとした表情でした(写真は大田区工業連合会のブース)。他には秋田、鹿児島、山形様々なブースが県レベルで出展しておりました。



上海市对外文化交流協会表敬訪問

団員 黒川 仁

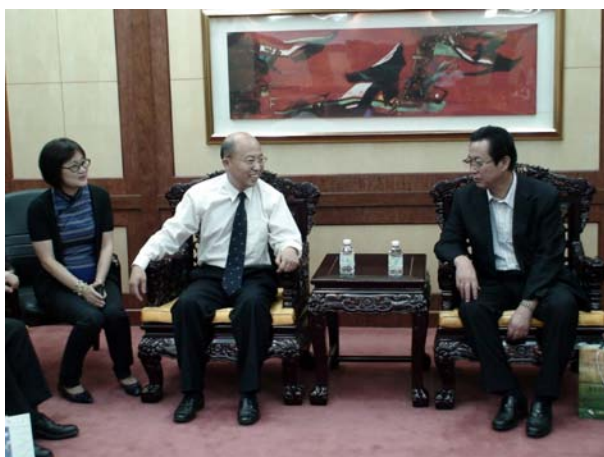
親善訪問6日目、午前9時半より上海市对外文化交流協会（Shanghai International Culture Association：以下SICAと略す。）の呉曉寅副秘書長（写真の中央）のもとへ表敬訪問をした。

今回の訪問の実現は、長年中国との深い人脈を築き上げてきた近藤忠夫団員の御蔭である。近藤団員は、呉氏の大使館勤務時代から公私にわたる関係構築に御尽力されてきた。そして、永井敬臣団長の御尽力によって、今回、大連市人民代表大会の要人との友好関係確立の調印ができた。そのことにまず感謝申し上げたい。

SICAは、1986年に設立された。日本の（社）日中友好協会と同様に、民間交流の窓口となる。交流相手国は、日本、米国、カナダ、オーストラリア、ドイツ、フランス、ロシアなどである。交流する分野は、文化、芸能、芸術の交流にとどまらず、政治、経済、科学技術、教育など多岐にわたる。SICAの廊下には、彼らが過去手掛けてきた、歌手のASKAやL' Arc~en~Ciel、MISIAの上海公演の際のポスターなどが並べてあり、SICAの活動の幅広さを目の当たりにした。

最近の日本との交流は、2008年人間国宝で歌舞伎役者の坂田藤十郎氏が、上海オペラ・ハウスで3日間連続公演をして連日満席の大盛況であった。坂田氏は、日中国交正常化35周年と日中文化・スポーツ年であった2007年にも同様に公演して、外国人として初めて、中国の演劇界では最大規模でかつ権威のある賞とされる白玉蘭戯劇特殊貢献奨を受賞し、日中文化交流の架け橋となっている。これも2008年の話であるが、上海シンフォニー・オーケストラが、東京国際フォーラムで6日間の公演を成功させている。

呉氏は、今後、中米国交回復30周年を迎えるにあたって、中米両国の青少年の交流を通じて相互の歴史理解を目指すと言っていた。第2次世界大戦の際の米国空母の物語と、米国人が中国の孤児たちの里親になっている例などを題材にするという。SICA主催の経済政策や環境政策に関するフォーラムで両国は関係を密にしている。今後、世界をリードする二国は、環境対策の面では遅れをとっている。SICAは、教育を通じた両国の相互理解をきっかけにして関係を深化させるようである。



中国は約5年ぶりの訪問であった。当時虹橋空港に着いた際、人を飲み込むような埃っぽさと排ガスによる空気の悪さが印象的であった。これから開発が本格化する市内には近代と前近代が混在していたのを憶えている。今回浦東空港を出ると、かつての埃っぽさはなかったが、市内まで向かう道がボコボコで「横滑り」の都市化を肌で感じる事ができた。市内でもかつて見た汚い車は交通規制で排斥され、外車が目立つようになっていた。そして相変わらずの大

渋滞。環境やインフラ整備の技術支援や教育を通じた相互理解や人道的支援など、日本が果たすべき役割りが大きいことを実感した。そして何よりも人と人との直接的な対話と地道な交流を通して密接な関係を構築することの必要性を改めて痛感した視察であった。

大田区議会北京市朝陽区等友好訪問報告～大連・上海を中心に

秘書長 近藤 忠 夫

大連市との協定書調印（10月27日～28日）

かねてより私は、大連市の元市長・魏富海氏、前市長・夏徳仁氏と親交を重ねるにしたがい、大田区と大連市が交流を深めることは双方にとって大いに意義のあるとの認識を次第に深めるに至った。松原区長にはこの経緯をお話し、平成20年8月に夏市長(当時)が来日した際には、東京で首長同士の会談の場を設けることができ、両者で覚書の締結に至った。それから1年経ち、10月25日の羽田・北京直行便開設を記念して、議会と区長が訪中するに際して大連市のおもだった方々と折衝を重ねた結果、議会サイドでは、永井敬臣議長と大連市人民代表大会常務委員会陳利民副主任の間で10月27日に交流促進の覚書の締結に至った。協定内容は76ページ右下写真のとおりである。また、10月28日松原忠義・大田区長（団員等立会）は大連市人民政府戴玉林副市长と友好協力関係都市に関する協定書を締結した。

このような協定は、単なる親善交流のレベルを超えて、産業経済の振興を具体的に推進する上で大いに役立つことが期待できるものである。この点がこれまでの友好都市締結と異なる意味を持っている。

大田工業連合会の舟久保利明会長は、大田区の中小企業の現状閉塞状態を打開するための一策として、海外、特に大連など中国からの受・発注の機会を開拓することが区内企業のビジネスチャンスに結びつくことに着目され、今回の松原区長の訪問団にも同行された。

そして、さまざまな困難のなか、めざましい行動力を発揮され、中国国際貿易促進委員会が行う2009大連中日貿易投資展示商談会に出展披露された(写真は展示会の案内板。日本からも富山県や新潟県が出展している)。日程は10月27日～28日、2日間の展示設営にあたっては大連在住の日本人・中国人・大連経済技術開発区・大田区出身大連進出企業の協力を得て、ようやく実現にこぎつけた(大田区産業経済部の協力は得られなかったが今後積極的に役割を果たされるよう期待したい)。

	J19	大連圣天高分子技术有限公司
	J20	阳备产业株式会社
PRO	J21	爱思味涛(S-CUT)电热材料(大連)
	J22	大連欣承塑料机械有限公司
	J23	大連传奇表面处理有限公司
	J24	HAMADA技术机器有限公司
	J25	上海成昂贸易有限公司
	J26	大連康百克数据库工程有限公司
	J27-28	东京都大田区大田工业联合会
	J29	联合控股株式会社
	J30	迈普利信息服务(大連)有限公司
	J31	日本富山県大連事務所
	J32-34	大連杰爱克企业管理有限公司
	J35-38	日本国・新潟県

展示ブースは12,000㎡で、現在世界経済は金融危機の影響を受けているが「一衣帯水」の関係にある日中経済にとって、この危機を脱する契機となるものである。日本からの参加は富山県、新潟県、神奈川県、北九州貿易協会、岩手県産業貿易振興協会、宮城県国際経済振興協会、山形県日中友好協会、青森県大連ビジネスサポートセンター等が参画し、主に陳列されていた物品は特産物が多く見受けられた。多くの参加者が大田工連のブースを訪れ署名、名刺交換を為された数は200社に上った。その中から特に興味をもたれた順位を付けると

- ①専門企業者・具体的に溶接技術、金型製造、成型研磨、鑄造技術、プラスチック成型技術等と協力する可能性を探る。
- ②ビジネス、貿易業界
- ③人材(研修生)派遣会社

④広告、メディア

⑤政府商務部門、大手国内企業の対外連絡部所等

これらの来場者から最も求められた資料は、大田区にあるすべての工業企業が持っている技術を紹介するパンフレット、工業連合会のパンフレット、投資ガイドの中国語で表わしたものであった。

こうした活動に、議会人や首長レベルでの大田区と大連との交流促進協定が寄与し、一層の実利が産業界などで展開して行くことを切に願っている。今後の課題として体制を整えるため事務所や営業マンの常駐等、正式活動ができる条件整備が望まれる。

上海市において10月29日～10月30日、31日帰国（羽田空港）

11時30分上海浦東空港に着く。大連周水子空港から正味2時間の移動である。朱家角まで外郭環状道路で4時間余り高速道路はバスを前後左右に揺れ、決して快適とは言えない。この環状道はトレーラが頻繁に走り道路の傷みを激しくしているからだと言われている。車窓からの眺め、上海郊外はまぎれもなく都市化の波を受けている。野菜畑が連綿と続くと思えば黄金色の稲穂、刈り入れ時期を控えた実り、続くことハウス栽培、養殖池、3階建ての立派な農家の家屋、屋根にはソーラー発電設置を各戸備えている。消費地上海市1,600万人の食を満たす広大な農業生産地の農家は裕福だ。



水郷の町朱家角に着いた。大運河から張り巡らされた水路、部落は明の時代からの面影を残している（右の写真）。しかし近代化の波はあちこちと虫食いのように開発の兆候が見える。太子橋袖棧橋から小舟に乗る。定員5名、船頭は魯で漕ぎ20メートル位の川巾両側に古い家並みがどこまでも続く、提灯もともり、風情を醸し出している。まさに住民生活の裏側である。運河の水で米を研ぎ、野菜を洗い、洗濯をし、ゴミも捨てるようだ。家の表道路は狭く各店が続いている。特産物チマキ、ハス、豚肉の加工品等である。この地で獲れた産物を土産品にしている。歴史と文化を観光化した名所である。水路の水は土色に濁っている。水を汲んで分析することにした。私たちが住む大田区の多摩川、海老取川、呑川の開発、環境整備、観光化へのアイデアの一つとして参考になった。

*朱家角水路の水質を調査するため運河の水を採取、日本に於いて水質検査を行った。以下分析データを添付する。

中国上海朱家角の河川水の水質検査結果について

1 有機物汚染の指標となる項目

表1 水質検査結果①（有機物汚染の指標となる物質）

	水道水質基準	試料 (朱家角)	参考	
			金町浄水場原水 (江戸川)	小作浄水場原水 (多摩川)
アンモニア態窒素	設定なし	0.00	0.05	0.00
硝酸態窒素及び 亜硝酸態窒素	10mg/L以下	1.5	2.1	0.79
有機物 (全有機炭素の量)	3mg/L以下	4.8	2.1	0.7

※浄水場原水の値は、平成20年度の平均値である。

(単位:mg/L)

(1) アンモニア態窒素について

【項目解説】 アンモニア態窒素の濃度は、河川に下水や生活排水等が流入していると高くなることから、河川の汚染の程度を示す指標としてしばしば用いられます。

アンモニア態窒素は、河川水中にアンモニア態窒素をえさとする細菌類が存在すると、時間の経過とともに「亜硝酸態窒素」や「硝酸態窒素」という物質に変化します（これにともない、アンモニア態窒素濃度は減少し、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素の濃度は増加します）。

【コメント】 一般に、生活排水又はそれを処理した下水処理水が流れ込んでいれば、アンモニア態窒素が検出されることが多いですが、朱家角の試料からは、アンモニア態窒素が検出されていません。

その原因としては、採水してからの日時が経っていることや、室温で保管されていたことにより、元々河川水中に存在していた細菌類によって硝酸態窒素に変化したためと考えられます。しかし、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素の濃度もそれほど高くないことから、採水地点より上流部では下水処理がそれほど普及していないか、下水の混入が（少）ない水と考えられます。

(2) 有機物（全有機炭素の量）について

【項目解説】 全有機炭素とは、水中に存在する有機物に含まれる炭素の総量のことで、有機物などによる汚れの度合を示す項目です。有機物は、土壌に起因するほか、し尿、下水、工場排水などの混入によっても増加します。また、水道水中に多く含まれると、渋い味を感じるがあります。

【コメント】 江戸川の下流にある金町浄水場原水と比較して、有機物(全有機炭素の量)が 2 倍以上あり、試料を採取した地点の水は有機物による汚濁が進んでいると思われます。

また、富栄養化した湖沼では藻類の光合成により有機物の生産が盛んであることから、今回の試料も湖沼等と同様にある程度停滞している水である可能性も考えられます。

2 硬度

表 2 水質検査結果② (硬度)

	水道水質基準	試料 (朱家角)	参考	
			金町浄水場原水 (江戸川)	小作浄水場原水 (多摩川)
カルシウム、マグネシウム等 (硬度)	300mg/L以下	161	62.9	42.4

※浄水場原水の値は、平成20年度の平均値である。

(単位:mg/L)

【項目解説】 硬度とは、水中のカルシウムイオン(Ca^{2+})とマグネシウムイオン(Mg^{2+})の量を、これに対応する炭酸カルシウム(CaCO_3)に換算し、mg/L で表したものです。明確な基準はありませんが、硬度が 120 程度以下の水は「軟水」、120 程度以上の水は「硬水」といわれます。

硬度が高い水は、石けんの泡立ちが悪くなり洗浄効果が落ちるほか、胃腸を害して下痢を起こす場合があります。

【コメント】 試料水の硬度は 161mg/L で金町浄水場原水の 2.6 倍であり、東京の水道原水などに比べると硬水といえます。なお、平成 20 年度の東京の水道水の硬度(平均値)は、区部：70.7mg/L、多摩：60.4mg/L です。

3 今回の水質検査結果について

本試料は、採取後 1ヶ月程度経過していることや、室温で保管されていたことから、その間に水質が変化していることが十分に考えられます。したがって、必ずしも現地の水質をそのまま反映している結果ではないという点にご注意ください。

水質検査結果書

東京都水道局水質センター

検査方法	平成15年厚生労働省告示第261号、厚生労働省健康局水道課長通知(平成15年10月10日付健水発第1010001号)又は上水試験方法2001年による。				項目の解説	主な使われ方
	試料名称	参考				
	上海朱家角(運河水)	金町浄水場原水(江戸川)	小作浄水場原水(多摩川)			
採水年月日	2009年10月29日	平成20年度平均	平成20年度平均			
検査項目	水道水質基準					
カドミウム及びその化合物	0.01 mg/L以下	0.000 mg/L	0.000 mg/L	0.000 mg/L	鉱山排水や工場排水などから河川水などに混入することがある。イタイイタイ病の原因物質として知られている。	電池、メッキ、顔料
セレン及びその化合物	0.01 mg/L以下	0.000 mg/L	0.000 mg/L	0.000 mg/L	鉱山排水や工場排水などの混入によって河川水などで検出されることがある。	半導体材料、顔料、薬剤
鉛及びその化合物	0.01 mg/L以下	0.002 mg/L	0.001 mg/L	0.000 mg/L	鉱山排水や工場排水などの混入によって河川水などで検出されることがある。通常、水道水中には含まれないが鉛管を使用している場合に検出されることがある。	鉛管、蓄電池、活字、ハンダ
ヒ素及びその化合物	0.01 mg/L以下	0.004 mg/L	0.001 mg/L	0.000 mg/L	地質の影響、鉱泉、鉱山排水、工場排水などの混入によって河川水などで検出されることがある。	合金、半導体材料
六価クロム化合物	0.05 mg/L以下	0.000 mg/L	0.000 mg/L	0.000 mg/L	鉱山排水や工場排水などの混入によって河川水などで検出されることがある。	メッキ
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10 mg/L以下	1.5 mg/L	2.1 mg/L	0.79 mg/L	畜産肥料、腐敗した動物性、生活排水、下水などの混入によって河川水などで検出される。高濃度に含まれると幼児にメーヘルゴロビン血症(チアノーゼ症)を起こすことがある。水、土壌中で硝酸態窒素、亜硝酸態窒素、アンモニウム態窒素に変化する。	無機肥料、火薬、発色剤
フッ素及びその化合物	0.8 mg/L以下	0.88 mg/L	0.10 mg/L	0.06 mg/L	主として地質や工場排水などの混入によって河川水などで検出される。適量摂取は虫歯の予防効果があるとされているが、高濃度に含まれると斑状歯の症状が現れることがある。	フロンガス製造、表面処理剤
砒素及びその化合物	1.0 mg/L以下	0.12 mg/L	0.05 mg/L	0.00 mg/L	火山地帯の地下水や温泉、ホウ素を使用している工場からの排水などの混入によって河川水などで検出されることがある。	表面処理剤、ガラス、エナメル工業、陶器、ホウロウ
亜鉛及びその化合物	1.0 mg/L以下	0.00 mg/L	0.00 mg/L	0.00 mg/L	鉱山排水、工場排水などの混入や亜鉛メッキ鋼管からの溶出に由来して検出されることがあり、高濃度に含まれると白濁の原因となる。	トタン板、合金、乾電池
アルミニウム及びその化合物	0.20 mg/L以下	0.79 mg/L	0.70 mg/L	0.10 mg/L	工場排水などの混入や、水処理に用いられるアルミニウム系凝集剤に由来して検出されることがあり、高濃度に含まれると白濁の原因となる。	アルミ製品、電線、ダイカスト、印刷インク
鉄及びその化合物	0.30 mg/L以下	1.2 mg/L	0.88 mg/L	0.67 mg/L	鉱山排水、工場排水などの混入や鉄管に由来して検出されることがあり、高濃度に含まれると臭気(カチカチ)や、洗濯物などを着色する原因となる。	建築、橋梁、造船
銅及びその化合物	1.0 mg/L以下	0.00 mg/L	0.00 mg/L	0.00 mg/L	銅山排水、工場排水、農業などの混入や給水装置などに使用される銅管、真鍮器具などからの溶出に由来して検出されることがあり、高濃度に含まれると洗濯物や水道施設を着色する原因となる。	電線、電池、メッキ、熱交換器

検査方法	平成15年厚生労働省告示第261号、厚生労働省健康局水道課長通知(平成15年10月10日付健水発第1010001号)又は上水試験方法2001年による。				項目の解説	主な使われ方
	試料名称	参考				
	上海朱家角(運河水)	金町浄水場原水(江戸川)	小作浄水場原水(多摩川)			
採水年月日	2009年10月29日	平成20年度平均	平成20年度平均			
検査項目	水道水質基準					
ナトリウム及びその化合物	200 mg/L以下	72 mg/L	12 mg/L	3.0 mg/L	工場排水や海水、塩素処理などの水処理に由来し、高濃度に含まれると味覚を損なう原因となる。	苛性ソーダ、石鹼
マンガン及びその化合物	0.05 mg/L以下	0.078 mg/L	0.056 mg/L	0.019 mg/L	地質からや、鉱山排水、工場排水の混入によって河川水などで検出されることがあり、消毒用の塩素で酸化されると黒色を呈することがある。	合金、乾電池、ガラス
塩化物イオン	200 mg/L以下	81 mg/L	15.3 mg/L	1.5 mg/L	地質や海水の浸透、下水、家庭排水、工場排水及びし尿などからの混入によって河川水などで検出され、高濃度に含まれると味覚を損なう原因となる。	食塩、塩素ガス
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300 mg/L以下	161 mg/L	62.9 mg/L	42.4 mg/L	硬度とはカルシウムとマグネシウムの合計量をいい、主として地質によるものである。硬度が低すぎると渋滞でくのない味がし、高すぎるとしつこい味がする。また、硬度が高いと石鹸の泡立ちが悪くなる。	カルシウム:肥料、さらし粉 マグネシウム:合金、電池
有機物(全有機炭素の量)	3 mg/L以下	4.8 mg/L	2.1 mg/L	0.7 mg/L	有機物などによる汚れの度合を示し、土壌に起因するほか、し尿、下水、工場排水などの混入によっても増加する。水道水中に多いと飲みをつける。	-----
pH値	5.8以上8.6以下	7.4	7.5	7.9	0から14の数値で表され、pH7が中性、7から小さくなるほど酸性が強くなり、7より大きくなるほどアルカリ性が強くなる。	-----
濁度	2 度以下	33 度	18 度	7.0 度	水の濁りの程度を示すもので、基準値の範囲内であれば濁りのない透明な水といえる。	-----
アンモニウム態窒素	設定なし	0.00 mg/L	0.05 mg/L	0.00 mg/L	生活排水や下水等が混入すると増加するため、これらによる汚染の指標となる。	冷却剤、肥料、飼料、火薬

※下線部は、採水してから水質検査を行うまでに値が変化している可能性が高い項目である。

おわりに

副団長 飯田 茂

10月25日から一週間の日程で、友好都市提携から12年目となる北京市朝陽区への親善訪問、大連市と友好協力関係に関する覚書への調印、そして2010年に万博を迎える上海市の実情を調査するため派遣されました。

10月25日が羽田空港と北京首都国際空港間を結ぶ定期チャーター便の開設日であることから、訪中をこの日と決め、記念すべき第1便で北京へ向いました。帰国翌日の11月1日の北京は寒波に見舞われ、10センチの積雪との報道に接しましたが、我々の訪中期間中は雨も降らず大変穏やかな天候で、特に訪中2日目の北京は真っ青な空で、現地のガイドさんより「皆さんを天気も熱烈に歓迎しています」と言われるほどでした。上海市では気温が27℃もあり、汗ばむほどでした。

北京市はオリンピック効果で街も、経済も大きく発展しており、この国は一段飛びで発展していると感じました。朝陽区との交流では、羽田空港から定期チャーター便で多くの人々が訪中することを期待され、今後とも一層広く、深く交流することを話し合いました。

大連市では、10月27日に大田区議会と同市人民代表大会常務委員会との間で「友好協力関係に関する覚書」に調印し、それが翌28日付けの大連日報に「東京都大田区代表団が大連を訪問」との見出しで報じられました。大連市は大田区と実務的な交流を進め高いレベルの交流に発展させることや、羽田空港と大連周水子空港間の直行便開設を強く望んでおられました。今回の調印が今後の交流などに大きな影響をもたらすと思います。

大連市の経済技術開発区は開発区の認定第一号で、開発区内には日系企業が約800社あり、5千人から6千人の日本人がいます。人件費が安く、人材が豊富で、特に技術者を集めやすいことから、2007年、大手IT企業が進出していました。大連市の最大の相手国は日本であるとの説明が印象的でした。

キャノンの本社が大田区内にあることもあり、現地の紹介でキャノン大連を訪問しました。説明によれば、資本金は136億円、従業員は7千人、そして地元との共生を理念に掲げ、トナーカートリッジを主力生産にして、大きな成長を遂げていました。昨年のリーマンショックでは3月に従業員の一部を自宅帰休ただけで、6月には平常に戻り、2010年初頭には従業員を増員する予定とのことでした。

大田工業連合会が出展中の大連日中貿易投資展示商談会も視察しました。将来性と魅力に富んだ大連市場の開拓を目指す企業の活発な意欲を感じました。

上海市では、同市対外文化交流協会などを訪問し、文化・芸術交流から青少年、区民レベルまで交流を拡大することを希望していました。上海市内を流れている黄浦江の両岸には巨大なビルが林立し、あたかも建物のコンテストのようでした。2010年の上海万博に向け街づくりが急ピッチで進められており、活気に満ちていました。中国の4大博物館の一つである上海博物館は人民広場内にあり、特に、1階の青銅器の展示は圧巻でした。



上海市黄浦江に林立する巨大ビル

現在の中国は元気と活力に満ちていますが、一方で、朝・夕の交通渋滞や治安、インフラの面で、今後の青少年交流、区民レベルの交流を考えると早急な対策が必要であると痛感しました。中国は一段飛びで発展し、日本の10倍の感覚でとらえると理解できる国でした。

今回の親善訪問を通し学んだことを、今後の大田区政に、議会活動に生かしていきたいと思います。最後に、親善訪問のためにご尽力いただいた各方面の関係者に深く感謝を申し上げます。

3 歴代議長・副議長・議員選出監査委員

(1) 歴代議長

代	氏名	在任期間						
初代	永久保新蔵	昭和22年	5月	26日	～	昭和23年	6月	25日
2代	太田 己信	昭和23年	6月	25日	～	昭和24年	5月	30日
3代	太田 己信	昭和24年	5月	30日	～	昭和25年	5月	30日
4代	松本 鶴二	昭和25年	5月	30日	～	昭和26年	4月	29日
5代	落合 鈺行	昭和26年	5月	28日	～	昭和27年	5月	29日
6代	松本 鶴二	昭和27年	5月	29日	～	昭和28年	6月	2日
7代	橋爪儀八郎	昭和28年	6月	2日	～	昭和29年	6月	1日
8代	門倉 傳造	昭和29年	6月	1日	～	昭和30年	4月	30日
9代	橋爪儀八郎	昭和30年	5月	26日	～	昭和31年	3月	14日
10代	小原 義雄	昭和31年	3月	14日	～	昭和32年	4月	8日
11代	大山 正行	昭和32年	4月	8日	～	昭和33年	3月	31日
12代	小田 七蔵	昭和33年	3月	31日	～	昭和34年	4月	30日
13代	永久保新蔵	昭和34年	6月	4日	～	昭和35年	6月	8日
14代	竹内 三郎	昭和35年	6月	8日	～	昭和36年	8月	1日
15代	鈴木 諭吉	昭和36年	8月	1日	～	昭和37年	8月	1日
16代	中島 縞吉	昭和37年	8月	1日	～	昭和38年	4月	30日
17代	野沢 賢吉	昭和38年	5月	28日	～	昭和39年	6月	6日
18代	横溝 儀市	昭和39年	6月	6日	～	昭和40年	5月	31日
19代	水戸 邦夫	昭和40年	5月	31日	～	昭和41年	6月	1日
20代	坂本辰治郎	昭和41年	6月	1日	～	昭和42年	4月	30日
21代	竹内 正作	昭和42年	5月	26日	～	昭和43年	6月	11日
22代	岡村新三郎	昭和43年	6月	11日	～	昭和44年	6月	12日
23代	田中善八郎	昭和44年	6月	12日	～	昭和45年	6月	12日
24代	狩野 昌平	昭和45年	6月	12日	～	昭和46年	4月	30日
25代	平林 義雄	昭和46年	5月	21日	～	昭和47年	6月	7日
26代	横溝 恒次	昭和47年	6月	7日	～	昭和48年	6月	11日
27代	狩野 昌平	昭和48年	6月	11日	～	昭和49年	6月	11日
28代	佐藤 良平	昭和49年	6月	11日	～	昭和50年	4月	30日
29代	小宮 岩雄	昭和50年	5月	30日	～	昭和51年	6月	10日
30代	渡辺 謙信	昭和51年	6月	10日	～	昭和52年	6月	10日
31代	塚越 順一	昭和52年	6月	10日	～	昭和53年	6月	13日
32代	直井 建蔵	昭和53年	6月	13日	～	昭和54年	4月	30日
33代	吉田 正晴	昭和54年	5月	30日	～	昭和55年	6月	13日
34代	佐藤 大助	昭和55年	6月	13日	～	昭和56年	6月	15日
35代	湯本 良雄	昭和56年	6月	15日	～	昭和57年	6月	17日
36代	吉田 義雄	昭和57年	6月	17日	～	昭和57年	12月	24日
37代	坂本辰治郎	昭和57年	12月	24日	～	昭和58年	4月	30日
38代	平林 淳宏	昭和58年	5月	30日	～	昭和60年	6月	14日
39代	諸星 博一	昭和60年	6月	14日	～	昭和62年	4月	30日
40代	松原 隆	昭和62年	5月	29日	～	平成元年	6月	15日

代	氏名	在任期間						
41代	宮田 欣一	平成元年	6月	15日	～	平成2年	6月	15日
42代	梅沢喜代造	平成2年	6月	15日	～	平成3年	4月	30日
43代	永井 敬臣	平成3年	5月	30日	～	平成5年	5月	31日
44代	張替 暉雄	平成5年	5月	31日	～	平成7年	4月	30日
45代	神林 茂	平成7年	5月	29日	～	平成8年	5月	29日
46代	藤田 静男	平成8年	5月	29日	～	平成9年	5月	29日
47代	田中 一吉	平成9年	5月	29日	～	平成11年	4月	30日
48代	永井 敬臣	平成11年	5月	17日	～	平成12年	5月	29日
49代	近藤 忠夫	平成12年	5月	29日	～	平成13年	5月	25日
50代	河津 章夫	平成13年	5月	25日	～	平成15年	4月	30日
51代	川上 智由	平成15年	5月	23日	～	平成16年	5月	12日
52代	小原 直美	平成16年	5月	26日	～	平成17年	5月	27日
53代	水井 達興	平成17年	5月	27日	～	平成19年	4月	30日
54代	永井 敬臣	平成19年	5月	21日	～			

(2) 歴代副議長

代	氏名	在任期間						
初代	吉松 貞弥	昭和22年	5月	26日	～	昭和23年	6月	25日
2代	田村 常義	昭和23年	6月	25日	～	昭和24年	5月	30日
3代	三川東九郎	昭和24年	5月	30日	～	昭和25年	5月	30日
4代	直井梅太郎	昭和25年	5月	30日	～	昭和26年	4月	29日
5代	松波松太郎	昭和26年	5月	28日	～	昭和27年	5月	29日
6代	鈴木 諭吉	昭和27年	5月	29日	～	昭和28年	6月	2日
7代	三ツ木 進	昭和28年	6月	2日	～	昭和29年	6月	1日
8代	高村 三郎	昭和29年	6月	1日	～	昭和30年	4月	30日
9代	高岡 栄馬	昭和30年	5月	26日	～	昭和31年	5月	24日
10代	早田判九郎	昭和31年	5月	24日	～	昭和32年	5月	27日
11代	小関 治	昭和32年	5月	27日	～	昭和33年	5月	30日
12代	渡辺 才一	昭和33年	5月	30日	～	昭和34年	4月	30日
13代	廣瀬 繁男	昭和34年	6月	4日	～	昭和35年	7月	9日
14代	三宅 穰	昭和35年	7月	9日	～	昭和36年	8月	1日
15代	田村 常義	昭和36年	8月	1日	～	昭和37年	8月	1日
16代	岡部 寛三	昭和37年	8月	1日	～	昭和38年	4月	30日
17代	亀石 正男	昭和38年	5月	28日	～	昭和39年	6月	6日
18代	島崎 初	昭和39年	6月	6日	～	昭和40年	5月	31日
19代	榎本 静雄	昭和40年	5月	31日	～	昭和41年	6月	1日
20代	川上 正男	昭和41年	6月	1日	～	昭和42年	4月	30日
21代	小菅 滋	昭和42年	5月	26日	～	昭和43年	6月	11日
22代	荒木桂太郎	昭和43年	6月	11日	～	昭和44年	6月	12日
23代	岡部 寛三	昭和44年	6月	12日	～	昭和45年	6月	12日
24代	島崎 初	昭和45年	6月	12日	～	昭和46年	4月	30日
25代	小菅 滋	昭和46年	5月	21日	～	昭和47年	6月	7日
26代	榎本 静雄	昭和47年	6月	7日	～	昭和48年	6月	11日
27代	根本 常章	昭和48年	6月	11日	～	昭和49年	6月	11日
28代	岡部 寛三	昭和49年	6月	11日	～	昭和50年	4月	30日
29代	橋野 淳	昭和50年	5月	30日	～	昭和51年	6月	10日
30代	園部 恭平	昭和51年	6月	10日	～	昭和52年	6月	10日
31代	高橋 正芳	昭和52年	6月	10日	～	昭和53年	6月	13日
32代	大野 進見	昭和53年	6月	13日	～	昭和54年	4月	30日
33代	桑原 春蔵	昭和54年	5月	30日	～	昭和55年	6月	13日
34代	橋野 淳	昭和55年	6月	13日	～	昭和56年	6月	15日
35代	高橋 正芳	昭和56年	6月	15日	～	昭和57年	6月	17日
36代	南条 弘吉	昭和57年	6月	17日	～	昭和58年	4月	30日
37代	藤江 三平	昭和58年	5月	30日	～	昭和59年	6月	7日
38代	佐野雅一郎	昭和59年	6月	7日	～	昭和60年	6月	14日
39代	斉藤 文男	昭和60年	6月	14日	～	昭和61年	6月	13日
40代	野沢 登	昭和61年	6月	13日	～	昭和62年	4月	30日

代	氏名	在任期間						
41代	高橋 正芳	昭和62年	5月	29日	～	昭和63年	6月	10日
42代	斉藤 文男	昭和63年	6月	10日	～	平成 2年	6月	15日
43代	野沢 登	平成 2年	6月	15日	～	平成 3年	4月	30日
44代	五十嵐雅夫	平成 3年	5月	30日	～	平成 4年	5月	29日
45代	溝口 誠	平成 4年	5月	29日	～	平成 5年	5月	31日
46代	有川 靖夫	平成 5年	5月	31日	～	平成 6年	5月	31日
47代	亀山 幸正	平成 6年	5月	31日	～	平成 7年	4月	30日
48代	田口 仁	平成 7年	5月	29日	～	平成 8年	5月	29日
49代	星野 仁	平成 8年	5月	29日	～	平成 9年	5月	29日
50代	飯島修一郎	平成 9年	5月	29日	～	平成10年	5月	29日
51代	荒川 善夫	平成10年	5月	29日	～	平成11年	4月	30日
52代	高橋 博	平成11年	5月	17日	～	平成12年	5月	29日
53代	飯田 茂	平成12年	5月	29日	～	平成13年	5月	25日
54代	富田 俊一	平成13年	5月	25日	～	平成14年	5月	30日
55代	溝口 誠	平成14年	5月	30日	～	平成15年	4月	30日
56代	有川 靖夫	平成15年	5月	23日	～	平成16年	5月	26日
57代	田口 仁	平成16年	5月	26日	～	平成17年	6月	8日
58代	荒川 善夫	平成17年	6月	8日	～	平成18年	5月	29日
59代	高橋 博	平成18年	5月	29日	～	平成19年	4月	30日
60代	飯田 茂	平成19年	5月	21日	～	平成20年	5月	23日
61代	清波 貞子	平成20年	5月	23日	～	平成21年	5月	25日
62代	古山 昌子	平成21年	5月	25日	～			

(3) 歴代議員選出監査委員

氏 名		同意年月日
桜井 哲郎		昭和22年 7月 28日
松原 茂一	岸田 交三	昭和24年 9月 21日
久保井良輔	成田 勇司	昭和26年 5月 30日
門倉 傳造	廣瀬 繁男	昭和27年 5月 29日
松橋 一誠		昭和29年 6月 1日
岸田 交三		昭和30年 5月 28日
吉岡権之助		昭和31年 5月 24日
水戸 邦夫		昭和32年 5月 27日
平林 金蔵		昭和33年 5月 30日
横溝 儀市		昭和34年 6月 9日
水戸 邦夫		昭和35年 6月 9日
園部 恭平		昭和36年 8月 1日
和田 新作		昭和37年 8月 1日
三ツ谷光勇		昭和38年 5月 30日
坂本辰治郎	園部 恭平	昭和39年 6月 6日
直井梅太郎	桑原 春蔵	昭和40年 5月 31日
綱嶋 源蔵	建 俊一	昭和41年 6月 1日
綱島 金蔵	茂呂 広	昭和42年 5月 27日
野沢 賢吉	尾崎フミエ	昭和43年 6月 12日
萩原 通男	伊藤 憲一	昭和44年 6月 12日
松波松太郎	石井 光義	昭和45年 6月 12日
橋野 淳	松原 忠雄	昭和46年 5月 22日
池山 鉄夫	大野 進見	昭和47年 6月 7日
渋谷 要	南条 弘吉	昭和48年 6月 11日
高橋 正芳	伏見 一喜	昭和49年 6月 11日
坂本辰治郎	田村 忠男	昭和50年 5月 30日
水戸 邦夫	木部美穂子	昭和51年 6月 10日
横溝 恒次	織田 純忠	昭和52年 6月 10日
平林 義雄	伊藤 憲一	昭和53年 6月 13日
佐藤 良平	西澤 正一	昭和54年 6月 15日
塚越 順一	松原 忠雄	昭和55年 6月 13日
小宮 岩雄	高崎 秀雄	昭和56年 6月 15日
吉田 正晴	木部美穂子	昭和57年 6月 17日
小林 裕	渋谷 要	昭和58年 5月 30日
小菅 滋	小関 直彦	昭和59年 6月 15日
佐藤 大助	丹羽 正明	昭和60年 6月 14日
湯本 良雄	田村 忠男	昭和61年 6月 13日
野沢 登	石井 賢二	昭和62年 5月 29日
諸星 博一	若林 克弥	昭和63年 6月 10日
竹内 重雄	金子 典子	平成元年 6月 15日

氏 名		同意年月日
亀山 幸正	間明 幸造	平成 2年 6月 15日
松原 隆	斉藤 文男	平成 3年 5月 30日
平林 淳宏	田口 仁	平成 4年 5月 29日
梅沢喜代造	石井 賢二	平成 5年 5月 31日
永井 敬臣	金子 典子	平成 6年 5月 31日
張替 暁雄	五十嵐雅夫	平成 7年 5月 29日
有川 靖夫	間明 幸造	平成 8年 5月 29日
神林 茂	溝口 誠	平成 9年 5月 29日
藤田 静男	小林 裕	平成10年 5月 29日
松原 隆	飯島修一郎	平成11年 5月 17日
荒川 善夫		平成12年 5月 29日
森 脩		平成12年 5月 30日
田中 一吉	高橋 博	平成13年 5月 25日
近藤 忠夫	岡崎 幸夫	平成14年 5月 30日
永井 敬臣	飯田 茂	平成15年 5月 23日
河津 章夫	富田 俊一	平成16年 5月 26日
田中 一吉	清波 貞子	平成17年 5月 27日
小原 直美	古山 昌子	平成18年 5月 29日
近藤 忠夫	渡部登志雄	平成19年 5月 21日
	松本 洋之	平成20年 5月 23日
	丸山 かよ	平成21年 5月 25日

4 予算等

(1) 議会費（当初予算）

（単位 千円）

科目	年度	平成21年度			平成20年度		
		議会費	事務局費	計	議会費	事務局費	計
報酬		382,416	0	382,416	382,340	0	382,340
給料		0	73,309	73,309	0	76,808	76,808
職員手当等		170,871	58,294	229,165	170,871	58,443	229,314
共済費		60,390	22,763	83,153	60,390	23,180	83,570
報償費		252	0	252	252	0	252
旅費		44,743	1,285	46,028	44,264	1,154	45,418
交際費		4,000	0	4,000	5,000	0	5,000
食糧費		69	26	95	89	34	123
一般需用費		14,880	1,178	16,058	14,670	1,152	15,822
役務費		14,552	472	15,024	14,391	423	14,814
委託料		3,133	555	3,688	3,133	608	3,741
使用料及び賃借料		1,505	745	2,250	1,505	652	2,157
備品購入費		182	0	182	0	0	0
負担金、補助及び交付金		138,000	4,411	142,411	138,000	5,447	143,447
合計		834,993	163,038	998,031	834,905	167,901	1,002,806

(2) 議員報酬

②平成19年1月1日から適用

（単位 円）

区分	月額
議長	933,000
副議長	785,000
委員長	660,000
副委員長	633,000
議員	614,000

②平成22年1月1日から適用

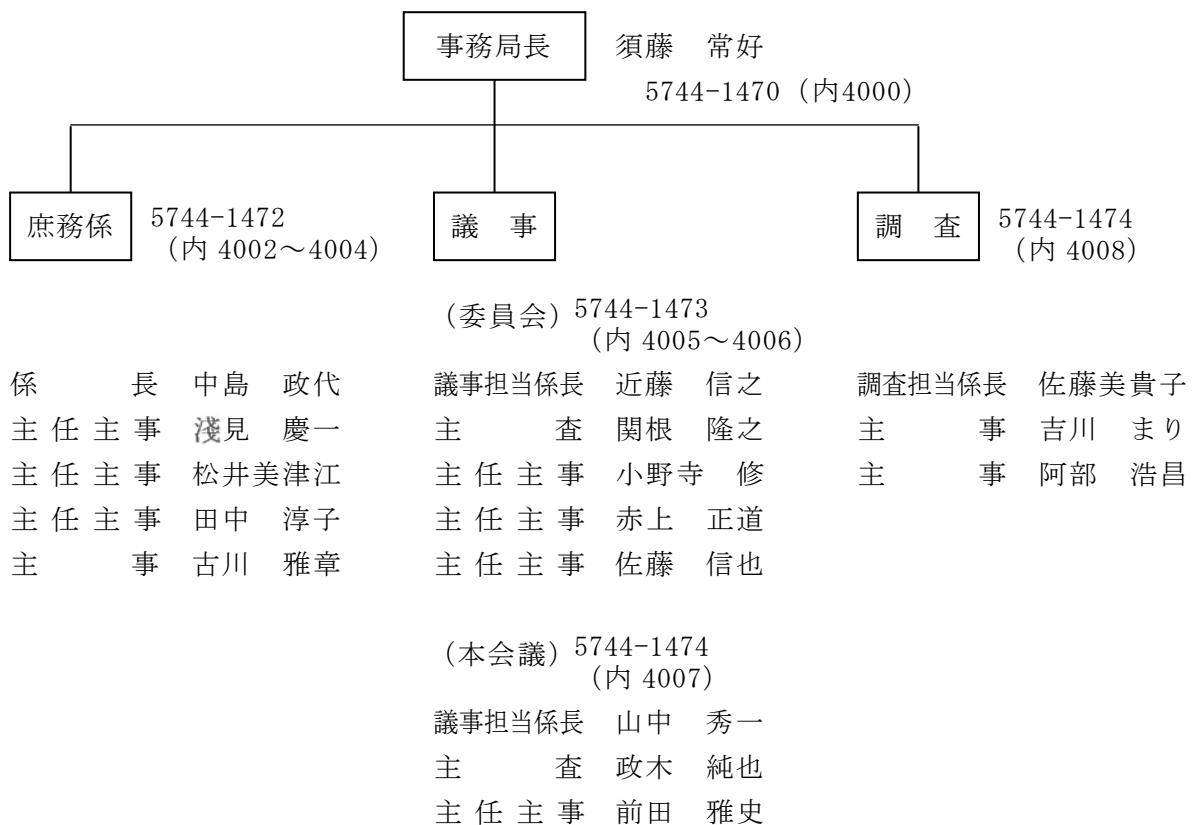
（単位 円）

区分	月額
議長	931,000
副議長	784,000
委員長	659,000
副委員長	632,000
議員	613,000

(3) 議会刊行物

種 類	発行回数	印刷部数	配 布 先
会議録	6回 (本会議開催のつど)	50部/回	議員、理事者、図書館、 ブロック区議会等
区議会だより	5回 (本会議開催のつど)	245,000部/回	区内の朝日、読売、毎 日、日経、産経、東京 の各新聞に折り込み、 特別出張所、図書館、 区内主要駅に設置して いる広報スタンド等
声の区議会だより	5回 (本会議開催のつど)	テープ60本/回 CD15枚/回	視聴覚障害者1、2級の 身体障害者及びこれに 準ずる方
区議会年報	1回	100部	議員、図書館等
請願・陳情文書表	6回 (定例会のつど) (1定、3定は2回)	240部/回	議員、理事者等
議員名簿	1回 (7月)	1,000部	議員、理事者等

5 事務局 (組織図) 平成21年12月28日現在



平成22年 2 月発行

平成21年（2009年）版
おおた区議会年報

発	行	大田区議会
編	集	大田区議会事務局
〒144 - 8621		東京都大田区蒲田五丁目13番14号
		電話 (03)5744 - 1474